Pioneer

コードレス留守番

システム名

TF–VD1200/VD1230/VD1240

（ティーエフ ブイディー／ブイディー／ブイディー）

取扱説明書

（保証書付）

このたびは、パイオニアのコードレス留守番電話機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みください。

お買い上げ時、本機は固定電話から携帯電話への通話サービス（0033モバイル）をそのままご利用いただけるように携帯通話プリセット機能が「ON」（使用する）に設定されています。「ひかり電話」、構内交換機（PBX）などをご利用の場合は、電話をかけられない場合がありますので、設定を「OFF」（解除）にしてください。（くわしくは、21ページをご覧ください。）

NTTへのサービス申し込みが必要です。（有料）
お買い上げ時、本機はナンバー・ディスプレイが「ON」（使用する）に設定されています。(58ページ)

お客様相談室 本製品のお問い合わせ窓口

東日本地区：TEL. 所沢 04-2949-5131
西日本地区：TEL. 大阪 06-6533-0099
専用FAX： 所沢 04-2949-5501

- 電話番号をよくご確認の上、市外局番より、お間違えのないようおかけください。
- 名称、所在地、電話番号は変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

当社はJBRC会員です。

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

目　次

機能名称から探すときは、「さくいん」が便利です。（114ページ）

お使いになる前に

準　備

電話機能

ひかり電話・直収電話・構内交換機（PBX）をご利用の方は、「携帯通話プリセット機能」を「OFF」（解除）にしてご使用ください。（21ページ）

ホームテレホン

留守番機能

電話帳

ナンバー・ディスプレイ

携帯通話プリセット機能

お好みで変える

必要なときは

困ったときは

安全上のご注意――必ずお守りください

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示で案内しています。その表示と意味は次のようになっています。

■ 表示内容を無視して誤った取扱をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。
⚠警告	死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容です。

■ 下記の ⚠ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容です。

■ 下記の 🛇 記号は禁止(してはいけないこと)を示しています。

■ 下記の ❗ や 記号は行動を強制したり指示する内容です。

●充電池（ニッケル水素電池）の取扱について

⚠危険

充電池の液もれや、発熱・破裂により、やけどやけがのおそれがありますので、次のことをしないでください。充電するときや、充電池を使用するときは必ず次のことを守ってください。

- **指定以外の充電池を使用しない**
- **プラス（＋）、マイナス（－）を逆にして使用しない**
- **本機の子機専用の充電池として使用し、他の機器には使用しない**
- **本機の子機に装着のうえ、専用の充電器で充電し、他の充電器では充電しない**
- **火の中に投入したり、加熱したりしない**
- **分解・改造・ハンダ付けしない**
- **プラス（＋）、マイナス（－）を針金等の金属で接続しない**
- **ふたで充電池コードをはさまない、破損させない**

充電池の“液”が目に入ると危険

失明のおそれがあります。こすらずに、すぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠警告

充電池（ニッケル水素電池）のビニールカバーをはがしたり、キズをつけない

発煙・発火の原因となります。

充電池を使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、変色・変形、その他今までと異なることに気が付いたときは、機器から充電池を取り出し、使用を中止する

次ページへつづく

●充電池（ニッケル水素電池）の取扱について（つづき）

⚠警告

水や海水につけたり濡らさない

充電池の発熱やサビの原因となります。

充電池の“液”が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流す

皮膚に障害をおこすおそれがあります。

⚠注意

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない

充電池の液もれ、発熱・破裂させる原因となることがあります。

充電温度範囲は、5〜35℃です。この温度範囲以外で充電すると、液もれ、発熱、充電池の性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

高温になる場所で使用したり、放置したりしない

充電池の液もれ、性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

充電池は（乳）幼児の手の届かない所に保管し、（乳）幼児が機器から取り出さないように注意する

●ACアダプターの取扱について

⚠警告

タコ足配線はしない、また、ホットカーペットや床暖房の上に置かない

火災・過熱の原因となります。

濡れた手でACアダプターにさわらない

感電の原因となります。

電源電圧（AC100V）以外では使用しない

付属以外のACアダプターは使用しない

雷が鳴り出したら、安全のため、早めにACアダプターをコンセントから抜く

火災・感電・故障の原因となります。

ACアダプターの刃や周辺に付着したほこりや金属などを取り除く

ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものをのせたりしない

万一、コードが傷んだときは（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●ACアダプターの取扱について（つづき）

⚠注意

熱でコードの被覆が溶ける原因になるので、ACアダプターのコードをストーブなどの熱器具に近づけない

発熱の原因になるので、ACアダプターはゆるみのあるコンセントに差し込まない

コードを傷める原因になるので、ACアダプターを抜くときは必ず本体を持って抜く

火災・感電の原因となることがあります。

ACアダプターは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となることがあります。また、ACアダプターの刃に触れると感電の原因となることがあります。

なお、壁面にあるコンセントにはACアダプターの上下を逆に差し込まないでください。（逆に差し込むと外れやすくなります。）

ACアダプターに付着したほこりなどは、乾いた布で定期的に取り除く

プラグなどにほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。

●本体の取扱について

⚠警告

ホームテレホン・ビジネスホン用の回線にそのまま接続しない

家庭用電話機をホームテレホン・ビジネスホン用の回線に、そのまま接続すると、必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となることがあります。
接続の際には、ホームテレホン・ビジネスホンのメーカー、または工事店にお問い合わせください。

次のような場所や条件で使用しない（本機の電波で、誤作動による事故の原因となることがあります。）

- 病院内などの使用を禁止された場所
- 医用電気機器に近い場所
  （手術室・集中治療室・CCU※など）
  ※CCU…冠状動脈疾患監視病室
- 自動ドア・火災報知器などの自動制御機器に近い場所
- 心臓ペースメーカーの装着部位から約22cm以内の位置

煙がでたり、変なにおいがするときはACアダプターをコンセントから抜く

万一、煙がでている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
すぐにACアダプターをコンセントから抜き、内部などを開けずに煙がでなくなるのを確認して修理窓口または販売店に修理をご依頼ください。
特に電話機が異常に熱くなっている場合は、やけどの危険性がありますので、絶対に触らないでください。お客様による修理、確認などは危険ですので絶対におやめください。

充電端子に水滴がついたまま充電しない

水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。そのまま使用すると火災・故障の原因となります。

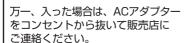
●本体の取扱について（つづき）

⚠警告

分解・改造しない

（改造は法律により禁止されています。）

開口部から金属類を差し込んだり、落とし込んだりしない

万一、入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

風呂やシャワー室では使用しない

火災・感電・故障の原因となります。

本機の上や近くに水などの入った容器や小さな金属物を置かない、水をこぼさない、小さな金属を中に入れない

水などで濡らさない

万一、内部に水などが入ったときはACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

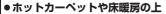
⚠注意

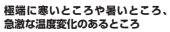
■次のような場所に設置しない

- **調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるところ**
- **湿気やほこりの多いところ**

火災・感電・故障の原因となることがあります。

- **直射日光の当たるところ**

- **ホットカーペットや床暖房の上**

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

極端に寒いところや暑いところ、急激な温度変化のあるところ

故障の原因となることがあります。

不安定な場所や振動の多いところ

落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となることがあります。

■その他

壁掛けにするときは落下しないようにしっかり固定する

落下すると、けが・故障の原因となることがあります。

受話器の受話部や子機のレシーバー・スピーカーに吸着物がないか確認してから使う

受話器の受話部や子機のレシーバー・スピーカーの磁石に、画鋲やピン、ホチキスなどの金属が付着し思わぬけがをすることがあります。
また、音がでないなどの故障の原因となることがあります。

子機の呼出音が鳴る部分（スピーカー）には絶対に耳を近づけない（突然呼出音が鳴ります。）

事故やけがの原因となることがあります。

長期間電話機を使用しないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜き、子機の充電池を外す

知っておいていただきたいこと

携帯通話プリセット機能（70～75ページ）について

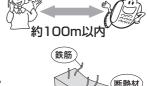
BBフォンなどのIP電話をご利用の場合は、「携帯通話プリセット機能」の設定の変更が必要です。
また、次の場合は、必ず設定を「OFF」（解除）にしてください。

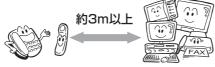
- NTT東日本・NTT西日本の「ひかり電話」ご利用時
- NTT東日本・NTT西日本以外のサービス事業者が提供する直収電話サービス※ご利用時
- ホームテレホンや構内交換機（PBX）接続時
- IP電話のご利用などで固定電話から携帯電話への通話サービスをご利用にならない場合

※…「直収電話サービス」とは、NTTの回線を経由しないで、直接お客様とサービス事業者を結ぶ電話サービスのことです。（例：KDDIのメタルプラス、ソフトバンクテレコムのおとくライン、J:COMのJ:COM PHONEなど）直収電話サービスにつきましては、各固定電話サービス事業者へお問い合わせください。

子機の使用について

- 充電端子の汚れは乾いた布や綿棒などでこまめに拭いてください。充電不足の原因となります。
- ”傍受” にご注意ください。デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。機密を要する重要な通話は親機を使用することをお勧めします。
- 親機と子機は、見通し距離約100m以内でお使いください。
  あらかじめ親機と子機の電波が届く範囲をご確認ください。電波が届かないと警告音「ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ、ピピピ」と鳴り、液晶画面に「オヤキ　サーチチュウ」（または「ツウワ　ケンガイ」）と「圏外」が表示され、警告音が鳴ってから、約30秒後に子機の通話が切れます。

- 電波が届きにくいときは親機に近づくか場所を変えてください。
  子機の通話がとぎれたり、雑音の原因となります。
  〈電波を届きにくくするもの〉
  鉄筋、鉄骨を使用した建物や構造物、コンクリート壁、
  金属の扉、金属箔のついた断熱材、金属製の壁や家具など

音声のとぎれや雑音を避けるために

- ファクシミリ・電子レンジ・テレビ・冷蔵庫・蛍光灯・スピーカー・パソコンなどと相互に影響を及ぼす場合は約3m以上離すか、電源を別のコンセントに接続してください。

ファクシミリ・電子レンジ・
テレビ・冷蔵庫・蛍光灯・
スピーカー・パソコンなど

- 磁気や蛍光灯などは、子機の通話がとぎれる原因となります。
- テレビ・ラジオなどは、雑音や画面が乱れるなど受信障害の原因となります。
- AV･OA機器などは、子機の呼出音が鳴らない原因となることがあります。
- 他の機器（携帯電話など）の充電器やACアダプターなどは、子機の通話がとぎれたり、呼出音が鳴らない原因となることがあります。
- 1つの部屋にデジタルコードレスホン（親機）を複数設置しないでください。子機の通話がとぎれる原因となります。
- 子機は中央部より下の部分を持って通話してください。子機の上部にアンテナが内蔵されていますので、そこを握ると、電波の飛びが悪くなる場合があります。
- 補聴器によっては子機の通話に雑音が入ることがあります。聞きとりにくいときは、親機をお使いください。
- 動きながら通話したり、近くを自動車やバイクが通ると声がとぎれたり雑音が入ることがあります。

次ページへつづく

電波について

本機は、2.4〜2.4835GHzの全帯域を使用する無線設備です。

移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH−SS方式」、与干渉距離は約80mです。本機には、それを示す右記のマークが貼付されています。

2.4FH8

●電波干渉によって、雑音が入ったり、他の無線機器に障害を与えたりすることがあります。電波干渉を防ぐために、下記の機器からは、親機・子機とも約3m以上離してください。無線LAN機器などをお使いのときは、回避チャンネル設定（88ページ）をお試しください。

・無線LAN機器（ルーター・AV機器・防犯機器など）
・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
・工場や倉庫などの物流管理システム
・火災報知器
・万引き防止システム（書店やCDショップなど）
・自動制御機器
・アマチュア無線局
・本機以外の2.4GHzのコードレス電話機やファクシミリ
・マイクロ波治療器
・電子レンジ
・ゲーム機のワイヤレスコントローラー
・鉄道車両や緊急車両の識別システム
・自動ドア
・その他、Bluetooth®対応機器やVICS（道路交通網システム）など

●本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医用機器のほか、工場の生産ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、混信回避のためのパーティションの設置や設置場所の移動を行ない互いに干渉が起きないようにしてください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社お客様相談室（111ページ）へお問い合わせください。

●商品の故障、誤作動または停電などの外部要因で電話が使えなかったことによる付随的損害については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご承知おきください。

ご注意　NOTICE
この製品は日本国内向けに製造されたもので、電圧100Vで動作します。
海外では、電話回線や電源電圧の規格が異なりますので、ご使用にはなれません。
For Japanese standards only. This set operates on AC100V.
Due to different standards of telephone line and different power requirements, this set cannot be used outside of Japan.

知っておいていただきたいこと

ご使用にあたってのお願い

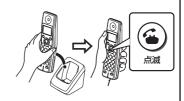
本機をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡していただいた日をもって、**「機器使用料」は、不要**となります。くわしくは、**局番なしの116番（無料）**へお問い合わせください。

操作に関するご注意

- **登録や設定の操作を行なうときは、必ず、親機は受話器をのせたままで、子機は 切 を押してから行なってください。**
- この取扱説明書の説明文（お知らせなど）では、ボタンの表記を 再生／停止 や 上下左右（選択） などの □（四角）で表しています。また、液晶画面に表示される言葉やマークを「LINE IN USE」、「カイセン　シヨウチュウ」や「圏外」などの「　」（かぎかっこ）で表しています。
- 登録や設定などの操作を間違えたときや、途中で操作を止めるには、親機は 再生／停止 、子機は 切 を押してください。子機で操作の途中で1つ前の操作に戻るときは 機能／録音／戻る を押してください。
- 登録や設定の操作の途中で約1分以上操作をしないと、通常状態に戻ります。
- 親機と子機のダイヤルライトと、親機と子機の液晶バックライトは、最後にボタンを押してから約15秒で消灯します。
- 子機の呼出音は親機より約1～2秒遅れて鳴ります。
- 子機が充電器上にあるときに （外線） や 内線／保留／文字 を押しても、機能は、はたらきません。
- 設定の途中で設定操作を中止した場合、設定変更内容は反映されません。そのときは、はじめからやり直してください。
- 親機または子機が外線通話中や、お断りのメッセージやガードメッセージが流れているとき（29・66～69ページ）は、登録・設定操作をしても、操作できない場合があります。液晶画面（13・15ページ）が通常状態に戻ってから、操作してください。
- 子機の液晶画面に、「オヤキ　サーチチュウ」（または「ツウワ　ケンガイ」）と「圏外」が表示されているときは、親機に近づいてください。表示が消えないときは、（外線）、内線／保留／文字 、または ハンズフリー のいずれかを押してください。親機の電源が入っていても、回線種別が正しく設定されていないときや子機が親機から離れすぎたり、使用環境によっては「オヤキ　サーチチュウ」（または「ツウワ　ケンガイ」）と「圏外」が表示されることがあります。

クイック通話（設定・解除操作は、82～83ページをご覧ください。）

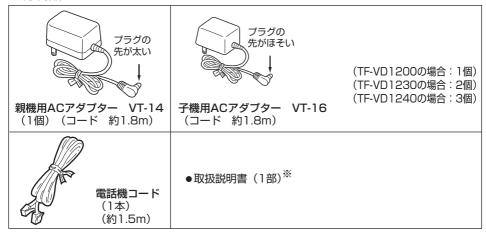
子機を充電器からとるだけで、（外線） を押さなくても電話をかけたり、受けたりすることができます。お買い上げ時は、クイック通話が「ON」に設定されています。

＊子機は充電器からとると、（外線）発信ランプが点滅します。約20秒以内にダイヤルしてください。ダイヤルしないと、転倒などによる誤動作防止のための警告音が「ピーッ、ピーッ…」と鳴り、自動的に電話が切れます。

クイック通話を解除しているとき（見てから通話）

- 子機を充電器からとって電話番号を入力し、その番号を確認してから電話をかけることができます。
- ナンバー・ディスプレイ加入時、電話がかかってきたときは、子機を充電器からとり、かけてきた相手の電話番号を確認してから、（外線） を押して通話することができます。

商品の確認

■本体（一式）

■付属品

※…英文などの外国語の取扱説明書はありません。また、本機に関するお問い合わせおよびサポート、取扱説明書の掲載内容につきましては、国内限定とさせていただきます。
Please take notice that manuals written in languages other than Japanese are not available.

さらに別売の専用子機を増設できます（付属の子機を含めて4台まで）

増設子機（別売品TF-DK125）

- 増設子機は、販売店でお買い求めください。
- 増設子機は、ご使用前に増設子機の登録操作が必要です。（85ページ）
  この操作には、必ず親機と子機、および親機用ACアダプターが必要です。修理窓口にご依頼の場合、有料になります。
- TF-VD1200に子機を増設すると、子機間通話、子機間転送、一斉呼出、子機から子機への電話帳コピーができます。
- PHS電話機を子機として増設することはできません。

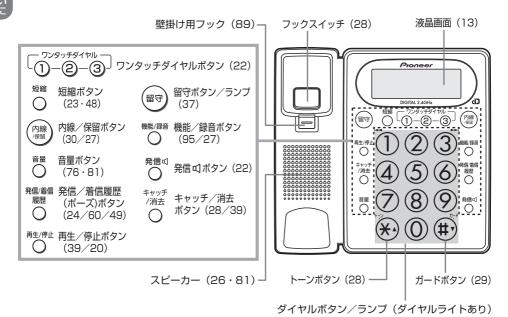
各部のなまえと液晶画面

（親機）

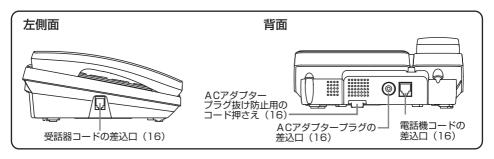
● （　）内の番号は、本文中に説明しているおもなページです。

壁掛け用フック（89）
フックスイッチ（28）
液晶画面（13）

ワンタッチダイヤル ①—②—③ ワンタッチダイヤルボタン（22）
短縮 短縮ボタン（23・48）
留守 留守ボタン／ランプ（37）
内線/保留 内線／保留ボタン（30／27）
機能/録音 機能／録音ボタン（95／27）
音量 音量ボタン（76・81）
発信 発信ボタン（22）
発信/着信履歴 発信／着信履歴（ポーズ）ボタン（24／60／49）
キャッチ/消去 キャッチ／消去ボタン（28／39）
再生/停止 再生／停止ボタン（39／20）

スピーカー（26・81）
トーンボタン（28）
ガードボタン（29）
ダイヤルボタン／ランプ（ダイヤルライトあり）

■点灯するボタンとランプのつき方（例）

ボタン名称	ランプの色	電話機の状態（ランプの状態）
留守ボタン／ランプ	赤	留守セット中<未再生の用件なし>（点灯） 留守セット中<通話録音した用件や未再生の用件あり>（点滅）

●ダイヤルライトは、液晶バックライトに連動して点灯します。（13ページ）

● 電話回線種別（ダイヤル回線 ⇄プッシュ回線）の切りかえスイッチはありません。
（回線種別の設定　19ページ）

次ページへつづく

親機の液晶画面（11桁表示）（液晶バックライトあり）

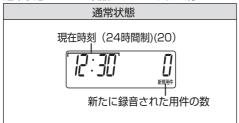
説明のために、液晶表示のマークをすべて表示しています。（実際の表示と異なります。）

■操作時の表示例

通常状態のときは液晶バックライトが消えています。

通常状態	ダイヤル中・通話中
	●かかってきた電話にでると、通話時間表示に切りかわります。通話時間は目安です。

■数字以外をダイヤルしたときの表示例

＊ を押したとき	＃ を押したとき	発信/着信履歴（ポーズ）を押したとき
ח	=	P ＊構内交換機（PBX）をご利用時などにポーズを入力すると表示されます。

● 親機の液晶バックライトは、外線着信中や操作したときなどに点灯します。（応答後や操作終了後、自動的に消灯します。常時点灯させることはできません。）

● 電話番号の確認（発信履歴、短縮ダイヤル、着信履歴、特定番号など）で、液晶画面に一度に表示できる桁数（11桁）を超えた場合は、表示できなかった番号を自動的に切りかえて表示します。

各部のなまえと液晶画面

（子機）

● （ ）内の番号は、本文中に説明しているおもなページです。

上下左右（選択）ボタン（20）

電話帳／決定ボタン（50／20）

発信履歴(ポーズ)ボタン（24・50）

着信履歴ボタン（60）

キャッチ／消去ボタン（28／53）

発信(受話音質)ボタン／ランプ（10・22・80）

機能／録音／戻るボタン（20／27／10）

切ボタン（10・22）

トーンボタン（28）

ガードボタン（53・29）

ハンズフリーボタン（26）

内線／保留／文字ボタン（30／27／52）

レシーバー（80）

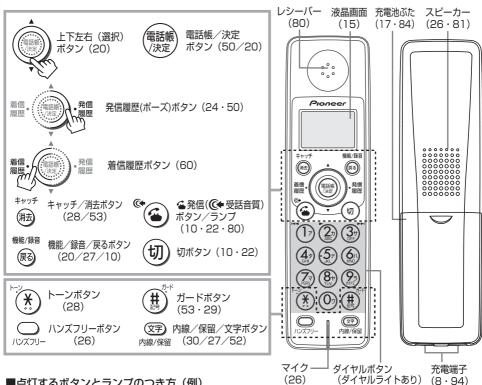
液晶画面（15）

充電池ぶた（17・84）

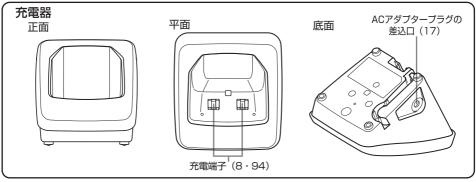
スピーカー（26・81）

マイク（26）

ダイヤルボタン（ダイヤルライトあり）

充電端子（8・94）

■点灯するボタンとランプのつき方（例）

ボタン名称	ランプの色	電話機の状態（ランプの状態）
発信ボタン／ランプ	赤	通話中（点灯）、 保留中・子機を充電器からとったとき<クイック通話ON>（点滅）
	緑	充電中（点灯）、 外線着信中・内線の呼出中および呼出されているとき（早点滅）

●ダイヤルライトは、液晶バックライトに連動して点灯します。（15ページ）

子機の液晶画面（12桁表示）（液晶バックライトあり）

説明のために、液晶表示のマークをすべて表示しています。（実際の表示と異なります。）

■操作時の表示例

通常状態1と2は、新規用件の有無により自動的に変わります。選択することはできません。
（通常状態のときは液晶バックライトが消えています。）

● 子機の液晶バックライトは、外線着信中や操作したときなどに点灯します。
（応答後や操作終了後、自動的に消灯します。常時点灯させることはできません。）

● 実際の液晶画面では、文字や記号は一部変形もしくは省略して表示されます。

● 電話番号の確認（発信履歴、電話帳、着信履歴など）で、液晶画面に一度に表示できる桁数(12桁)を超えた場合は、表示できなかった番号を自動的に切りかえて表示します。

❶ 受話器コードを接続し、受話器を親機の上に置く

❷ 親機用ACアダプター(VT－14)をコンセントに差し込む
（デモ画面の表示を開始します。）

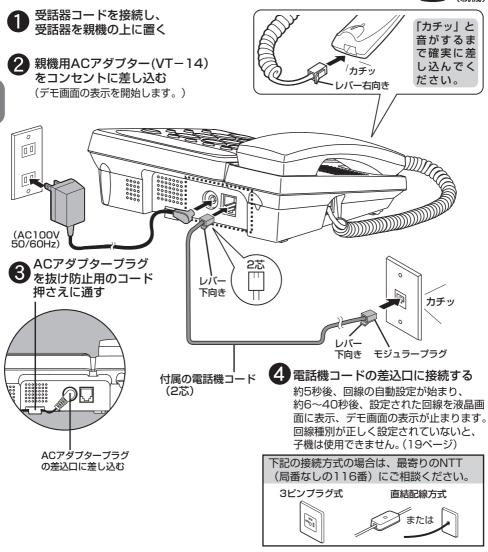
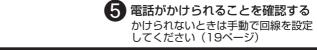
❸ ACアダプタープラグを抜け防止用のコード押さえに通す

❹ 電話機コードの差込口に接続する

約5秒後、回線の自動設定が始まり、約6～40秒後、設定された回線を液晶画面に表示、デモ画面の表示が止まります。回線種別が正しく設定されていないと、子機は使用できません。（19ページ）

下記の接続方式の場合は、最寄りのNTT（局番なしの116番）にご相談ください。

❺ 電話がかけられることを確認する

かけられないときは手動で回線を設定してください（19ページ）

おしらせ

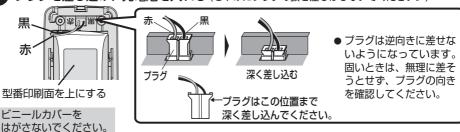
- ファクシミリやOA機器や冷蔵庫などの電源コンセントと同じコンセントにはつながないでください。雑音や誤動作の原因となります。
- 親機用ACアダプターは常に接続しておいてください。親機用ACアダプターを接続しておかないと子機は使用できません。また、親機の登録操作や留守番機能などが使用できません。
- 親機用ACアダプターや親機の底は多少あたたかくなりますが、異常ではありません。
- ファクシミリと接続するときは92ページ、ADSLやISDN回線をご利用の場合は93ページをご覧ください。

次ページへつづく

（子機）

❶ プラグを差し込み、充電池を入れる（むやみにプラグの抜き差しはしないでください。）

ビニールカバーを
はがさないでください。

●プラグは逆向きに差せないようになっています。固いときは、無理に差そうとせず、プラグの向きを確認してください。

❷ 充電池ぶたを閉じる（コードをふたで、はさまないようにしてください。）

①約5mmあけた状態にする

②充電池ぶたを子機に均等に密着させる

③密着させたまま、充電池ぶたを矢印の方向にスライドさせて閉める

右図のようにつめの先端を合わせると、約5mmあいた状態になる

すき間がないように

充電池ぶたはしっかり閉じる

❸ 子機用ACアダプターを接続する

子機用ACアダプターのコードを溝に通す

カチッ

ACアダプタープラグの差込口へ

「カチッ」と音がするまで、確実に奥まで差し込んでください。

❹ 子機を置き、約10時間以上充電する
（約10時間以上充電しても、☎発信ランプは緑点灯し続け、消灯しません。）

- 約10時間以上充電しても、回線種別が正しく設定されていないと、子機は使えません。（19ページ）
- 子機を使ったあとは、必ず、充電器に戻してください。

- 必ず、ダイヤル面を手前にして置いてください。
- 逆向きで置くと充電できません。

子機の充電

（子機）

使用時間について	待ち受け時間：約180時間	連続通話時間：約6時間

■ **充電が完了しても 発信ランプは緑点灯し続けます。**

■ **必ず、親機を通電状態にしてから、回線種別を設定し（19ページ）、通話圏内で充電してください。**

「ツウワ　ケンガイ」(または「オヤキ　サーチチュウ」) と「圏外」が表示されているときは、通常よりも充電に時間がかかります。

■ **充電池が消耗していて使えないときは、子機を充電器にのせてもすぐに 発信ランプは緑点灯しません。約10分間、充電器に置いたままにしてください。**

約10分間、充電しても液晶画面に何も表示されないときや、 発信ランプが緑点灯しないときは、次のどちらかの操作を行なってください。

- 子機を充電器からとって、もう一度充電器に戻してください。
- 充電池ぶたをあけ、充電池のプラグを抜き差しし、プラグの向きと差し込みの深さを確認して充電池ぶたを閉じてください。(17ページ)

■ **子機を使ったあとや使わないときは、必ず、充電器に戻してください。充電し続けても、故障することはありません。**

充電器に置いていないと、まったく使わなくても充電池は徐々に消耗し、充電できなくなることがあります。その場合、充電池の交換が必要になります。約1週間以上子機を充電器から外したり、子機用ACアダプターをコンセントから抜くときは、充電池の消耗を防ぐため、充電池を取り外してください。次に使うときは、充電してください。

子機の要充電表示について

充電池（ニッケル水素電池）が消耗すると、子機は使用できなくなります。

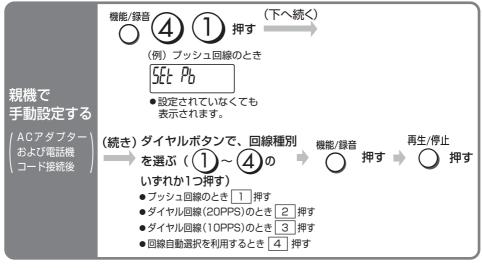
- 充電池（ニッケル水素電池）が消耗すると、液晶画面に「デンチザンリョウガ　アリマセン」と表示されます。電話がかかってきても呼出音は鳴りません。また、電話にでることもできません。子機を充電器に戻し、液晶画面が通常状態に戻れば、子機を使用することができます。
- 通話中に充電池（ニッケル水素電池）が消耗すると、「ピピピ…ピピピ…」と警告音が鳴り、電話が切れます。

⚠ 危険

- 充電池は加熱したり、火中に投げ込まないでください。爆発して火災・けがの原因となることがあります。
- 充電池の端子をショート（短絡）したり、ビニールカバーをはがしたりしないでください。火災・けがの原因となることがあります。
- 専用の充電池（当社純正品）以外は、使用しないでください。火災・故障の原因となることがあります。
- 充電するときは、付属の充電器をお使いください。

回線種別（プッシュ／ダイヤル）の設定

（親機）

自動で回線種別（プッシュ／ダイヤル）を判定できなかったときは**親機で手動設定してください。**
（回線種別がわからないときは、ご契約の電話会社へお問い合わせください。）
正しく回線種別が設定されていないと、子機をお使いになれません。

■ 回線自動選択を利用すると、判定した回線の種類を表示します。

プッシュ回線のとき：Pb

ダイヤル回線（20PPS）のとき：20PPS

ダイヤル回線（10PPS）のとき：10PPS

■ 回線種別を設定後、天気予報（177）などに電話をかけて、電話がかからないときは、「プッシュ」→「20PPS」→「10PPS」の順に設定を変えてください。（177番にかけると通話料がかかります。）どの設定でもかからないときは、NTT窓口116へ

■ 下記の場合は、回線種別を設定し直してください。
・電話回線の種別をダイヤル回線 ⇄ プッシュ回線に変更したとき
・引越などで、電話機を別の場所に移動したとき

■ 回線種別を設定後、子機の液晶画面に「オヤキ　サーチチュウ」（または「ツウワ　ケンガイ」）と表示されているときは［☎］、［内線/保留/文字］、［ハンズフリー］のいずれかを押したり、充電器からとったり、親機に近づいたりしてください。

下記のような場合は、回線種別で自動選択をはたらかせても、回線種別が正しく選べません。
電話がかけられない場合は、電話回線を手動設定してください。
- ●電話回線の事情などで合わないとき
- ●スプリッタ 一体型ADSLモデムなどのADSL関連機器につないだとき
- ●フュージョン・コミュニケーションズ（東京電話）／QTNet（九州電話）アダプターにつないだとき
- ●LCR／ACR用アダプターにつないだとき
- ●ファクシミリにつないだとき
- ●ホームテレホンや構内交換機（PBX）などの内線電話番号としてお使いになるとき

（2009年3月現在）

日付と時刻の設定

親機やそれぞれの子機で、現在の日付と時刻を設定してください。
本機の時計は、電源が入ると（子機は充電池をセットすると）、自動的に2009年1月1日午前0時から動き始めます。通話録音（27ページ）した内容や留守録音された用件（39ページ）、着信履歴（60～62ページ）の日付と時刻は、ここで設定する時計をもとに記録されます。正確な日付と時刻を記録する（タイムスタンプ）には、親機と子機の時計を合わせてください。
■ 子機を2台以上お使いの場合は、子機ごとに時計を合わせてください。

準備

親機の時計を合わせる

機能/録音 ③ 押す → 年月日と時刻（24時間制）を入力する →（下へ続く）

- ダイヤルボタンを押します。
- すでに設定されているときは、設定されている年月日が表示されます。

（例）2009年12月24日午後7時5分のとき
⓪⑨ ①②②④ ①⑨⓪⑤
西暦(下2桁)　月日(4桁)　時刻(4桁)

- 間違えたときは、はじめからやり直してください。

（続き）→ 機能/録音 押す → 再生/停止 押す

子機の時計を合わせる
（切を押してから操作します）

機能/録音（戻る）押す → 電話帳/決定 下を4回押す → 電話帳/決定 押す →（下へ続く）

ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳｺﾋﾟｰ
▶ﾆﾁｼﾞ ｾｯﾃｲ

- すでに設定されているときは、設定されている年月日と時刻（24時間制）が表示されます。

（続き）→ 年月日と時刻（24時間制）を入力する → 電話帳/決定 押す → 切 押す

（例）2009年12月24日午後7時5分のとき
⓪⑨ ①②②④ ①⑨⓪⑤
西暦(下2桁)　月日(4桁)　時刻(4桁)

2009年
12月24日 19:05 ― カーソル

- 間違えたときは、上下左右（選択）の右または左を押して、カーソルを修正する箇所に移動させて、入力し直してください。

- 西暦は2000年から2099年まで設定できます。
- 本機の時計は目安としてご利用ください。1ヶ月に約60秒ずれることがあります。ずれたときは、時計を合わせてください。
- 子機1の時計を、親機の時計より先に合わせると、子機1で合わせた時計が自動的に親機に転送され、親機の液晶画面に表示されます。親機と子機1の時計は同期しません。親機と子機1で最大約60秒の誤差が生じます。また、子機1の液晶画面に「オヤキ　サーチチュウ」（または「ツウワ　ケンガイ」）と「圏外」が表示されているときは、転送されません。

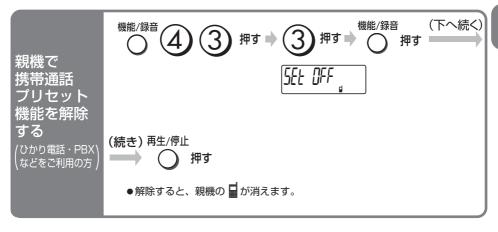
ひかり電話・直収電話・PBXをご利用の方へ

（親機）

本機は、NTTコミュニケーションズ株式会社の「固定電話から携帯電話への通話サービス（0033モバイル）」をそのままご利用いただけるように設定されています。お買い上げ時は「携帯通話プリセット機能」が「ON（IP電話利用なし）」に設定されています。（70～75ページ）

携帯電話へ電話をかけると、自動的に「0033」をつけて発信します。

ひかり電話・直収電話※・構内交換機（PBX）をご利用の方は「携帯通話プリセット機能」を「OFF」（解除）にしてご使用ください。

そのままご使用になると、相手の携帯電話につながらなかったり、外線発信番号（例：0）を押しても、ダイヤルが発信されないなどの不具合が生じます。

※…「直収電話サービス」とは、NTTの回線を経由しないで、直接お客様とサービス事業者を結ぶ電話サービスのことです。（例：KDDIのメタルプラス、ソフトバンクテレコムのおとくライン、J:COMのJ:COM PHONEなど）直収電話サービスにつきましては、各固定電話サービス事業者へお問い合わせください。

かける／受ける

ひかり電話・直収電話・構内交換機（PBX）をご利用の方は「携帯通話プリセット機能」を「OFF」（解除）にして、ご使用ください。（21ページ）

親機で電話をかける

受話器をとる ➡ ツー音が聞こえたらダイヤルする ➡ 話す ➡ 通話が終わったら受話器を戻す

子機で電話をかける

充電器からとる（または　充電器上にないときは 押す） ➡ ツー音が聞こえたらダイヤルする（発信ランプ点灯） ➡ 話す ➡ 通話が終わったら充電器に戻す（または 切 押す）

■ 電話番号に184や186をつけてかけるとき（59ページ）

親機：184（または186） ➡ 電話番号 ➡ 受話器をとる

子機：184（または186） ➡ 電話番号 ➡ 押す（または　充電器上にあるときは充電器からとる）

■ 親機でテレホンサービスを聞くときなどは、受話器を置いたままスピーカーで聞くと便利です。(スピーカー拡声)
ただし、停電中は使用できません。

受話器をとらずにかける（オンフックダイヤル）

発信 押す ➡ ツー音が聞こえたらダイヤルする ➡ スピーカーから相手の声が聞こえる ➡ 受話器をとり、話す

■ 親機のワンタッチダイヤル “1”〜“3” は、親機の短縮ダイヤルの “01”〜“03” と同じです。短縮ダイヤルの “01”〜“03” に登録したものが、自動的にワンタッチダイヤル “1”〜“3” に登録されます。

親機のワンタッチダイヤルを使ってかける（最大3件）

受話器をとり、かけたいワンタッチダイヤルを押す

（ワンタッチダイヤル ①—②—③ のいずれか1つ）

- 自動的にダイヤルします。
- 登録されていないときは「ピピピ」と鳴ります。
- ワンタッチダイヤルを押しただけで、電話をかけることができます。相手がでたら、受話器をとってお話しください。

親機のワンタッチダイヤルに登録する（最大3件）

機能/録音　短縮　押す ➡ ダイヤルボタンで、登録したいワンタッチダイヤルの数字を押す（01､02､03のいずれか2桁） ➡ ダイヤルボタンで、市外局番から電話番号を入力する（最大20桁） （下へ続く） ➡

ワンタッチダイヤル	押すボタン
ワンタッチダイヤル1	⓪①
ワンタッチダイヤル2	⓪②
ワンタッチダイヤル3	⓪③

- ポーズを入れたいときは、発信／着信履歴を押します。

（続き） ➡ 機能/録音　押す

■ 親機の短縮ダイヤルへの登録が必要です。（48〜49ページ）子機ではできません。

親機の短縮ダイヤルを使ってかける（最大20件）	短縮 押す ➡ ダイヤルボタンで、かけたい短縮番号を押す（00〜19のいずれか2桁）（例）短縮番号“08”のとき ● ⋇ または # を押して短縮番号を選ぶこともできます。 ➡ 受話器をとる ● 自動的にダイヤルします。● 登録されていないときは「ピピピ」と鳴ります。

親機で電話を受ける	呼出音が鳴ったら受話器をとる ➡ 話す ➡ 通話が終わったら受話器を戻す
子機で電話を受ける	呼出音が鳴ったら、充電器からとる（または　充電器上にないときは ☎ 押す） ➡ 話す ➡ 通話が終わったら充電器に戻す（または 切 押す）

電話機能

おしらせ

- 電話番号を入力したあとに、親機は受話器をとるか、発信 を押す、子機は ☎ を押しても、電話をかけることができます。（先押しダイヤル／最大20桁まで）
- 液晶画面に表示される通話時間は、あくまでも目安です。
- クイック通話設定時(82〜83ページ)､子機を充電器からとると ☎発信ランプが赤点滅します。
- ADSLやISDN回線をご利用の場合、事務所など騒音の激しい場所でお使いの場合は、相手の声が聞きとりにくくなったり、反響する場合があります。この場合は「スプリッタ・TA設定」（87ページ）を行なってください。（症状が緩和される場合があります。）
- 構内交換機（PBX）に接続してお使いのときは、市外局番の前に、外線につなぐ番号（例：0）を押してから、親機は 発信/着信履歴（ポーズ）、子機は 発信履歴（ポーズ）を押してください。発信音「ツー」が聞こえるまでの約4秒間のポーズ（待ち時間）を自動的にあけます。
- 携帯通話プリセット機能（70〜75ページ）を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を、自動的につけてダイヤルします。このとき親機の液晶画面の「 」が約5秒間点滅します。なお、自動付与される事業者識別番号は、液晶画面に表示されません。
- 電話をかけようとしたときに、受話器（または子機）から「ププッ、ププッ」という音がする場合があります。これは、キャッチホンⅡやマジックボックスのメッセージ預かりの通知音です。
- 親機の短縮ダイヤル（48〜49ページ）を修正すると、対応するワンタッチダイヤルも修正されます。ワンタッチダイヤルに登録している相手を親機の短縮ダイヤルから消去すると、ワンタッチダイヤルも解除されます。

リダイヤル／発信履歴

最後にかけた相手に簡単な操作でかけ直すことができます。(**リダイヤル**)
電話をかけたとき相手先の電話番号を、親機と子機それぞれ新しい順に最大10件（20桁）まで自動的に記録します。(**発信履歴**)

親機のリダイヤルでかける

受話器をとりツー音が聞こえたら ➡ 発信/着信履歴 押す

● 自動的にダイヤルします。

子機のリダイヤルでかける

押す
（または　充電器上にあるときは充電器からとる）➡ 右を押す

● 自動的にダイヤルします。

子機の発信履歴に184や186などをつけてかける（特番ダイヤル）
（切を押してから操作します）

右を押す

0312345678 発

➡ 上または下を押して相手を選ぶ

● 下を押すと、さかのぼって表示していきます。

➡ 機能/録音 戻る 押す

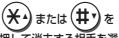
ﾄｸﾊﾞﾝﾀﾞｲﾔﾙ
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾄｳﾛｸ

親機の発信履歴を消去する

発信/着信履歴 押す

03 12345678 発

➡ ＊▲ または ＃▼ を押して消去する相手を選ぶ

● ＃ を押すと、さかのぼって表示していきます。

➡ キャッチ/消去 押す

03 12345678

● 電話番号が点滅します。

子機の発信履歴を消去する
（切を押してから操作します）

右を押す

0312345678 発

➡ 上または下を押して消去する相手を選ぶ

● 下を押すと、さかのぼって表示していきます。

➡ 機能/録音 押す

おしらせ

- 発信履歴が10件を超えると、古いものから順に消去され、新しい電話番号が記録されます。
- 子機は、電話帳を利用して電話をかける（56ページ）と、電話帳に登録した名前と電話番号が記録され、名前が表示されます。このとき、＃ を押すと、表示が電話番号に切りかわり、もう一度押すと名前の表示に戻ります。
- 携帯通話プリセット機能（70～75ページ）を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき親機の液晶画面の「 」が約5秒間点滅します。ただし事業者識別番号は、リダイヤルや発信履歴には記録されません。
- ＊、＃、ポーズ（49・50ページ）なども 1桁として記録されます。

親機の発信履歴からかける

発信/着信履歴 押す → または を押して相手を選ぶ → 受話器をとる → 通話が終わったら受話器を戻す

● # を押すと、さかのぼって表示していきます。

● 自動的にダイヤルします。

子機の発信履歴からかける
(切を押してから操作します)

着信履歴 発信履歴 右を押す → 上または下を押して相手を選ぶ → 押す → 通話が終わったら充電器に戻す(または 切 押す)

● 下を押すと、さかのぼって表示していきます。

● 自動的にダイヤルします。

電話帳/決定 押す → 特番ダイヤルを入力する(最大10桁) → 押す → 通話が終わったら充電器に戻す(または 切 押す)

（例）非通知でかけるときは 1 8 4 押す

（例）通知してかけるときは 1 8 6 押す

● 自動的にダイヤルします。

キャッチ/消去 押す → 再生/停止 押す

 上を2回押す → 電話帳/決定 押す → 電話帳/決定 押す → 切 押す

●一度にすべて消去したいときは、さらに、下を1回押して、“ショウキョ（スベテ）”を選びます。

おしらせ

●ナンバー・ディスプレイご利用時、発信履歴が記録されていないとき、親機の 発信／着信履歴 を1回押すと、着信履歴が表示されます。ご注意ください。（着信履歴　60ページ）

●親機の発信履歴を一度にすべて消去したいときは、受話器を置いた状態で、親機の 発信／着信履歴 を2秒以上押します。親機の発信履歴を一度にすべて消去すると、着信履歴もすべて消去されます。（着信履歴　60ページ）

●親機で発信履歴に184や186などをつけてかけること（特番ダイヤル）は、できません。

ハンズフリー通話をする

（子機）

子機を持たずに通話することができます。（ハンズフリー通話）　親機ではできません。
相手の声はスピーカーから聞こえます。話すときはマイクに向かって話します。約50cmを目安にお話しください。（ただし、停電中は使用できません。親機の受話器でお話しください。）

電話機能

電話をかける

ハンズフリー を押し、ツー音が聞こえたらダイヤルする

- ダイヤルしたあとに、ハンズフリー を押しても、電話をかけることができます。（先押しダイヤル／最大20桁まで）

電話を受ける

呼出音が鳴ったら、ハンズフリー を押す

■ **ハンズフリー通話を終わらせるときは、切 を押します。（または　充電器に戻す）**

■ **通常の通話に戻るには、ハンズフリー を押すか、充電器上にあるときは、充電器からとります。また、通常の通話中に、再度 ハンズフリー を押すと、ハンズフリー通話に切りかわります。**

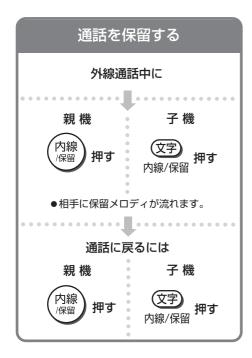
ハンズフリー通話を使用するときのご注意

- **騒音のない静かな場所でご使用ください。**周りの音が大きいときや騒がしいときは、自分の声や相手の声がとぎれて会話しにくくなることがあります。
- マイクからの距離は、約50cmが目安です。離れすぎると相手に声が届きにくくなります。また、近すぎると声が大きすぎて反響し、相手の声が聞きとりにくくなります。
- 相手の話がいったん終わったところで話すと、スムーズな会話をすることができます。
- 子機を手に持ってレシーバーを耳に当てた状態では、ハンズフリー通話をご使用にならないでください。
- 天気予報（177）など、連続してスピーカーで聞く場合は、音声がとぎれる場合があります。

おしらせ

- ハンズフリー通話中は、子機の液晶画面に「」が表示されます。
- 相手の声が聞きとりにくいときは、ハンズフリー通話中に 上下左右（選択） の上または下を押してスピーカー音量を調節してください。（81ページ）
- 子機は、内線通話中または子機間通話中、三者通話中など（30〜36ページ）に、ハンズフリー通話をすることができます。

保留する

通話中、相手に待ってもらう間、保留メロディ「曲名：カノン」を流すことができます。**(保留)**
こちらの声や音は、相手には聞こえません。
（保留メロディは1種類です。）

おしらせ

- 内線通話、子機間通話、三者通話中は、保留できません。
- 外からの電話を保留している状態が約15～16分間続くと、自動的に電話は切れます。
- 親機は保留したあと受話器を戻すか、再生／停止を押す、子機は保留したあと充電器に戻すか、切を押さないと、保留した親機や子機以外で、通話に戻ることはできません。

通話を録音する（通話録音）

通話中の会話を録音することができます。（最大約10分間）録音時間は、用件や留守番の自作メッセージの長さによって変わります。

■ **必ず液晶画面の表示を確認して、ゆっくり操作してください。素早く押すと、録音の開始や停止ができない場合があります。**

通話を録音する

外線通話中に

親 機	子 機
機能/録音 押す	機能/録音 戻る 押す
rEC	<ツウワロクオンチュウ>

- 会話が録音され、親機の日付と時刻が記録されます。
- 子機で、発信時やナンバー・ディスプレイご利用時は、電話番号も表示されます。

録音を終わらせるには

親 機	子 機
機能/録音 押す	機能/録音 戻る 押す

■ **通話録音した内容は、用件と一緒に再生されます。親機や子機で用件を再生してください。(39ページ)**

■ **留守セット中に、通話録音すると、親機の留守ランプが点滅します。**

おしらせ

- 親機の内線/保留や子機の内線/保留/文字を押したときや、録音可能時間がなくなったときは、録音を終了します。
- 録音の残り時間がないとき、録音件数が59件のとき、内線通話、子機間通話、三者通話中は、録音することができません。
- 約1秒程度の短い録音は、用件1件として認識されない場合があります。
- 録音中にキャッチホンが入ると、キャッチホンの信号音（「ピポ、ジャー」または「ピポ」）が録音されます。
- 録音中に キャッチ／消去 を押してキャッチホンに応答しても、通話録音を継続します。このとき、液晶画面は、キャッチホンの表示を優先します。

サービスを利用するとき キャッチホンの切りかえ

NTTのキャッチホンサービス（有料）にご契約されると、通話中にかかってきた別の相手とお話しすることができます。また、構内交換機(PBX)に接続してお使いの場合にも便利です。

■ ご契約に関しては、NTT窓口（お客様サービス116番）へお問い合わせください。

キャッチホンを受ける

通話中にキャッチホンの信号音（「プッ、プッ・・・」）が聞こえたら、

親機

キャッチ/消去 押す

子機

キャッチ 押す

- キャッチホンで割り込んできた相手に切りかわります。
- もう一度押すと、元の相手との通話に戻ります。

おしらせ

- キャッチホンサービスをご利用のとき、キャッチ／消去 を押してから、新しくかかってきた人につながるまで、多少時間がかかることがあります。
- ファクシミリに接続すると、キャッチホンサービスを利用できない場合があります。必ず、ファクシミリに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 電話をかけようとしたときに、受話器（または子機）から「ププッ、ププッ」という音がする場合があります。これは、キャッチホンⅡやマジックボックスのメッセージ預かりの通知音です。
- キャッチ／消去 のかわりにフックスイッチを押すと、通話が切れたり、切りかえたあとの操作で通話がとぎれたりする場合があります。通話を切りかえるときは キャッチ／消去 を押してください。

サービスを利用するとき プッシュホンの信号

ダイヤル回線をご使用でも、相手を呼出したあとにトーンボタンを押して、プッシュホンサービス（銀行ANSER、クレジット通話サービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御など）を利用することができます。

プッシュホンサービスを利用する（トーン信号を送る）

各種サービスにダイヤルし、電話がつながり、案内サービスが流れたら、

親機

トーン ＊ 押す

子機

トーン ＊ 押す

アナウンスにしたがって操作する

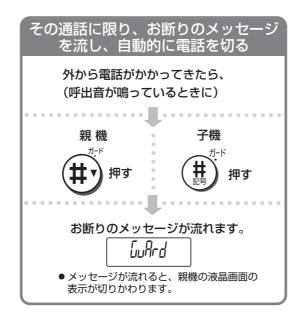
- これ以降は、ダイヤルボタンを押すと、トーン信号が送られます。

トーン信号とは、プッシュ回線で電話をかけるときの「ピッ、ポッ、パッ」という音のことです。ダイヤル回線でご契約されている方でも通話中に ＊ を押すことにより、このトーン信号を出すことができます。プッシュ回線をお使いの方は、必要ありません。

おしらせ

- ＊ を使ってもサービスが利用できないときは、サービス提供先にお問い合わせください。新幹線の予約などプッシュ回線のご契約が必要な場合もあります。
- 電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号に戻ります。

お断りのメッセージを流して電話を切る

かかってきた電話にでたくないときは、ガードボタンを押してお断りのメッセージを流し、自動的に電話を切ります。ナンバー・ディスプレイ（58ページ）をご利用の場合は、かかってきた相手の電話番号を確認してから、ガードボタンを押して、お断りのメッセージを流すことができます。
■ **お断りのメッセージは「おそれ入りますが、のちほどおかけ直しください。」です。**

- 通話中は使えません。
- ナンバー・ディスプレイをご利用になり、「ガード機能」（66ページ）を設定すると、非通知、公衆電話、表示圏外からかかってきた電話や特定の電話番号（特定番号）からの電話に、ガードの種類によって異なるお断りのメッセージを流し、自動的に電話を切ることができます。

内線で話す（内線通話／子機間通話）

親機と子機で内線通話することができます。さらに、子機を2台以上お使いのときは、親機やすべての子機を一斉に呼出すこともできます。（一斉呼出　32ページ）

親機から子機を呼出して話をする

親　機［送り手］

内線/保留 押す

（例）子機を4台お使いのとき

PUSH 1-2-3-4

ダイヤルボタンで、呼出す子機番号を押す

子機1のとき：① 押す
子機2のとき：② 押す
子機3のとき：③ 押す
子機4のとき：④ 押す

受け手がでたら、受話器をとり、話す

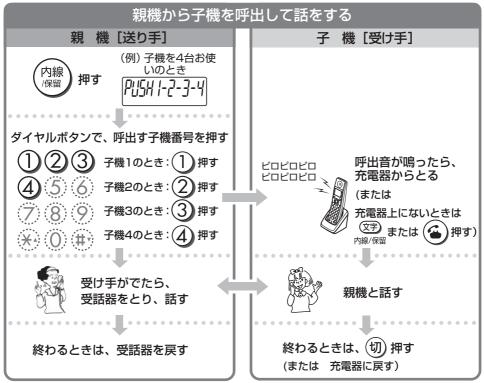
終わるときは、受話器を戻す

子　機［受け手］

ピロピロピロ
ピロピロピロ

呼出音が鳴ったら、充電器からとる
（または
充電器上にないときは
文字/内線/保留 または 外線 押す）

親機と話す

終わるときは、切 押す
（または　充電器に戻す）

内線通話中や子機間通話中に外から電話がかかってきたときは

内線通話や子機間通話が自動的に終わり、外からの着信の呼出音（76〜77ページ）が鳴ります。

- 親機は一度、受話器を戻し、再度、受話器をとると、外の相手と話すことができます。
- 子機は 外線 を押すと、外の相手と話すことができます。

おしらせ

- 内線通話は、通話料金はかかりません。
- 送り手が呼出しを止めるときは、親機の［内線／保留］または［再生／停止］を押してください。
- 親機（または子機）が外線通話中に、使用していないその他の子機（または親機）で、内線通話や子機間通話をすることができます。

子機から親機（または他の子機）を呼出して話をする

子　機［送り手］(切を押してから操作します)

（文字 内線/保留）押す

（例）子機を1台お使いのとき

ﾅｲｾﾝ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ
▲▼ｵﾔｷ

子機を2台以上お使いのときは（電話帳/決定）の上または下を押して相手を選ぶ

- 選ぶかわりに、親機の内線番号（ 0 ）または子機の内線番号（ 1 ～ 4 ）を押すと、次の操作を行なわずに、呼出すことができます。

（電話帳/決定）押す

（例）親機を呼出したとき

ﾅｲｾﾝ
ｵﾔｷ

受け手がでたら、話す

終わるときは、（切）押す
（または　充電器に戻す）

親機・他の子機［受け手］

ピロピロピロ
ピロピロピロ

呼出音が鳴ったら、親機は受話器をとる、子機は充電器からとる

（または
充電器上にないときは
（文字 内線/保留）または（通話）押す）

子機と話す

終わるときは、親機は受話器を戻す
子機は（切）押す（または　充電器に戻す）

ホームテレホン

おしらせ

- 内線通話や子機間通話は、通話料金はかかりません。
- 送り手が呼出しを止めるときは、子機の 内線／保留／文字 または 切 を押してください。
- 子機は、内線通話中または子機間通話中に ハンズフリー を押すと、ハンズフリー通話（26ページ）をすることができます。送り手と受け手の両方でハンズフリー通話をした場合、送り手と受け手の距離が近いと、声が反響して相手の声が聞きとりにくくなります。

親機や子機を一斉に呼出す（一斉呼出）

親機とすべての子機を一斉に呼出して、内線通話することができます。（一斉呼出）
外線通話中にも利用できます。子機を2台以上お使いでないときは、一斉呼出はできません。

親機からすべての子機を一斉に呼出す

内線/保留 押す

＃▼ 押す

●すべての子機の呼出音が鳴ります。

最初に電話にでた子機と、受話器をとり、話す

終わるときは、受話器を戻す

子機から親機と他の子機を一斉に呼出す（切を押してから操作します）

文字 内線/保留 押す

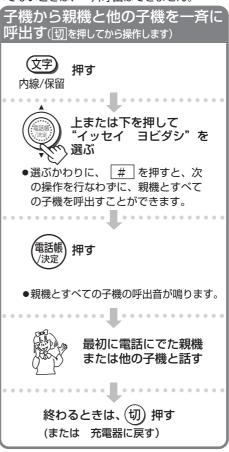
上または下を押して“イッセイ　ヨビダシ”を選ぶ

●選ぶかわりに、＃を押すと、次の操作を行なわずに、親機とすべての子機を呼出すことができます。

電話帳/決定 押す

●親機とすべての子機の呼出音が鳴ります。

最初に電話にでた親機または他の子機と話す

終わるときは、切 押す
（または　充電器に戻す）

■受け手の子機は、呼出音が鳴ったら、充電器からとるか、充電器上にないときは、☎または内線／保留／文字を押して話してください。受け手の親機は、呼出音が鳴ったら、受話器をとってください。

おしらせ

●親機から呼出しているときは、親機の内線／保留または再生／停止、子機から呼出しているときは、子機の内線／保留／文字または切を押して、呼出しを止めてください。

ホームテレホン

電話をまわす（保留転送／子機間転送）

次ページへつづく

外からの電話を親機や子機にまわすことができます。子機を2台以上お使いのときは、一斉呼出（32ページ）を利用してまわすこともできます。

親機から子機にまわす

親　機［送り手］

外の相手と通話中に

内線/保留 押す

（例）子機を4台お使いのとき

PUSH 1-2-3-4

●外の相手との通話が保留になり、保留メロディが流れます。

ダイヤルボタンで、呼出す子機番号を押す

子機1のとき：① 押す
子機2のとき：② 押す
子機3のとき：③ 押す
子機4のとき：④ 押す

受け手がでたら、通話をまわすことを伝える

終わるときは、受話器を戻す

●内線通話が終わり、子機と外の相手が通話できます。

子　機［受け手］

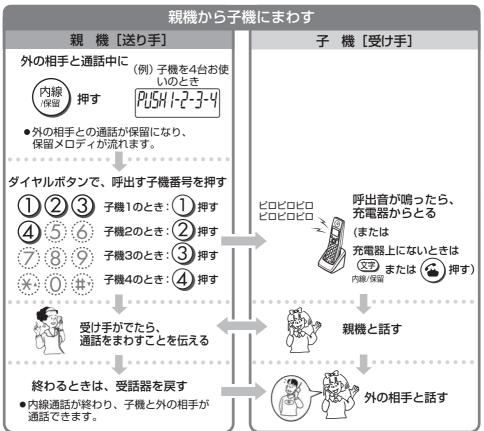
ピロピロピロ
ピロピロピロ

呼出音が鳴ったら、充電器からとる

（または充電器上にないときは 文字(内線/保留) または 通話 押す）

親機と話す

外の相手と話す

おしらせ

●送り手が呼出しを止めるときは、親機の［内線／保留］を押してください。外の相手との通話を保留している状態に戻ります。もう一度押すと、保留が解除されて通話に戻ります。
●親機で通話中に保留したあと、受話器を戻してから、子機を充電器からとるか、［通話］を押すと、その子機で外の相手と話すことができます。
●内線通話中の親機や子機に、外からの電話をまわすことはできません。

電話をまわす（保留転送／子機間転送）

子機から親機（または他の子機）にまわす

子　機［送り手］

外の相手と通話中に

文字 内線/保留 押す

（例）子機を1台お使いのとき

〈ホリュウチュウ〉
⇕オヤキ

●外の相手との通話が保留になり、保留メロディが流れます。

子機を2台以上お使いのときは 電話帳/決定 の上または下を押して相手を選ぶ

●選ぶかわりに、親機の内線番号（ 0 ）または子機の内線番号（ 1 〜 4 ）を押すと、次の操作を行なわずに、呼出すことができます。

電話帳/決定 押す

（例）親機を呼出したとき

ナイセン
オヤキ

受け手がでたら、通話をまわすことを伝える

終わるときは、切 押す

（または　充電器に戻す）

●内線通話が終わり、親機（または他の子機）と外の相手が通話できます。

親機・他の子機［受け手］

ピロピロピロ
ピロピロピロ

呼出音が鳴ったら、親機は受話器をとる、子機は充電器からとる

（または充電器上にないときは 文字 内線/保留 または 外線 押す）

子機と話す

外の相手と話す

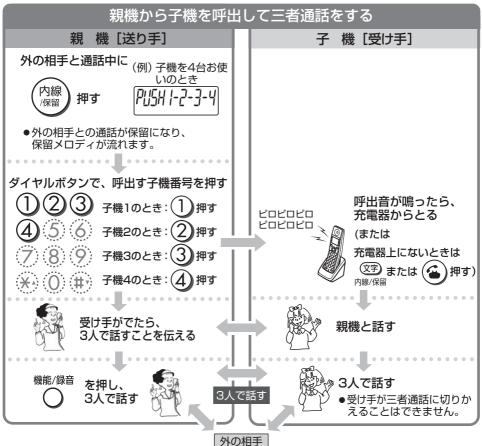
おしらせ

●送り手が呼出しを止めるときは、子機の 内線／保留／文字 を押してください。外の相手との通話を保留している状態に戻ります。もう一度押すと、保留が解除されて通話に戻ります。

●子機で通話中に保留したあと、充電器に戻すか、 切 を押します。その後、親機の受話器をとるか、他の子機を充電器からとるか、 外線 を押すと、その子機で外の相手と話すことができます。

3人で話す（三者通話）

次ページへつづく

子機、親機、外の相手の3人で話すことができます。子機を2台以上お使いのときは、子機どうしと外の相手の3人で話すことができます。

ご注意（次ページへ続く）

- 三者通話から外の相手との二者通話にするときは、三者通話中の親機または子機のどちらかで通話を止める操作（親機は受話器を戻す、子機は 切 を押す）をしてください。
- 子機を2台以上お使いのとき、親機と子機で三者通話中に別の子機に保留転送するには、親機または子機のどちらかで通話を止める操作（親機は受話器を戻す、子機は 切 を押す）を行ない、二者通話にしてから保留転送（33～34ページ）の操作をしてください。
- 三者通話中にキャッチホン（28ページ）の信号音が聞こえたときは、キャッチ／消去を押すと、通話中にかかってきた別の相手との三者通話になります。
- キャッチホン・ディスプレイ（58ページ）をご利用の場合、通話中にかかってきた別の相手の電話番号は、三者通話中の親機または子機の液晶画面に表示されます。
- 外線通話中の親機や子機に、強制的に割り込んで三者通話にすることはできません。

3人で話す（三者通話）

子機から親機（または他の子機）を呼出して三者通話をする

子　機［送り手］	親機・他の子機［受け手］
外の相手と通話中に （文字 内線/保留）押す （例）子機を1台お使いのとき：〈ホリュウチュウ〉 ▲▼オヤキ ●外の相手との通話が保留になり、保留メロディが流れます。 **子機を2台以上お使いのときは（電話帳/決定）の上または下を押して相手を選ぶ** ●選ぶかわりに、親機の内線番号（0）または子機の内線番号（1 ～ 4）を押すと、次の操作を行なわずに、呼出すことができます。	
（電話帳/決定）押す （例）親機を呼出したとき：ナイセン オヤキ	ピロピロピロ ピロピロピロ **呼出音が鳴ったら、親機は受話器をとる、子機は充電器からとる** （または充電器上にないときは（文字 内線/保留）または（通話）押す）
受け手がでたら、3人で話すことを伝える	**子機と話す**
機能/録音（戻る）**を押し、3人で話す**	**3人で話す** ●受け手が三者通話に切りかえることはできません。

3人で話す

外の相手

ご注意（続き）

- 子機は三者通話中に ［ハンズフリー］ を押すと、ハンズフリー通話（26ページ）をすることができます。送り手と受け手の両方でハンズフリー通話をした場合、送り手と受け手の距離が近いと、声が反響して相手の声が聞きとりにくくなります。
- 子機を2台以上お使いのときは、三者通話していない親機や子機の液晶画面に「LINE IN USE」（親機）や「カイセン　シヨウチュウ」（子機）と表示されます。これらが表示されているときは、登録や設定操作を行なえない場合があります。液晶画面が通常状態（13・15ページ）に戻ってから、操作してください。

留守セット／留守解除

次ページへつづく

固定メッセージを内蔵していますので、自作メッセージを録音（40ページ）しなくても、簡単に留守セットできます。留守セットすると、設定した着信ベル回数の呼出音が鳴り、応答メッセージが流れます。お買い上げ時、トールセーバに設定されています（47ページ）。着信ベル回数は変えることができます（44ページ）。

固定メッセージの種類	メッセージ内容
固定メッセージ	「おそれ入りますが、ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話ください。」
固定応答専用メッセージ	「おそれ入りますが、のちほどおかけ直しください。」

■**自作または固定メッセージで留守セット中、録音の残り時間がなくなったときや録音件数が59件に達したときは、用件が録音できなくなるため、自動的に固定応答専用メッセージに切りかわります。任意に設定することはできません。用件を消去すると、自作または固定メッセージで留守セットできます。録音時間の短い用件を1件消去しても録音できない場合は、各用件の内容を確認し、複数の用件またはすべての用件を消去してください。（39ページ）**

■**用件を録音できる時間は、合計約10分、件数では最大59件までです。また、1件あたりの最大録音時間は、約5分です。約8秒以上無音が続いたときや、相手が何も話さなかったとき、声が小さいときは、自動的に録音を終了します。**

親機で留守セット／留守解除する

留守セットするとき

押す（点灯）

●応答メッセージが流れて、留守セットされます。
● 留守 が点滅しているときは、一度も聞いていない用件があるので、すべての用件を再生（39ページ）してください。（点滅から点灯に変わります。）

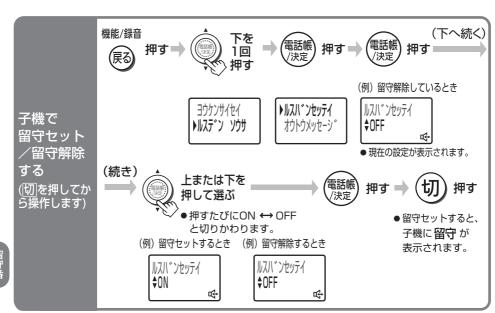
留守解除するとき

押す（消灯）

●留守解除され、新しい用件と着信日時が1件目から再生されます。新しい用件が録音順に再生されたあと、一度聞いた用件が再生されます。新しい用件がなく、一度聞いた用件があるときは、一度聞いた用件が再生されます。（お知らせガイダンスと再生の順番　38ページ）

おしらせ

●親機の呼出音量を消音にしてから留守セットすると、親機の呼出音やスピーカーからの音を出さずに留守応答できます。（**消音留守セット**）　消音留守セットしても、子機の呼出音は鳴ります。必要に応じて、子機の呼出音量を消音に設定してください。（76～77ページ）
●留守セットしていなくても、外から電話がかかってきたときに親機の 留守 を押すと、応答メッセージが流れ、留守番機能がはたらきます。そのあと、留守セットされます。

留守セット／留守解除

お知らせガイダンスと再生の順番
（例）新しい用件が3件、一度聞いた用件が2件のとき

留守応答中に相手を確認してから電話にでる（居留守モニター）

- 在宅中に留守セットしておくと、親機は、留守動作中に応答メッセージや相手の声をスピーカーで聞くことができます。（ただし、親機で呼出音量を消音に設定しているときは、聞こえません。76～77ページ）子機は、留守動作中（子機の液晶画面に「ルス　チャクシンチュウ」と表示されているとき）に、機能／録音／戻る を押すと、応答メッセージや相手の声をスピーカーで聞くことができます。電話にでるときは、相手を確認したら、親機は受話器をとるか、子機は [☎] を押してください。留守動作が自動的に停止します。
- 応答メッセージや相手の声の音量を調節するには、スピーカー音量を調節してください。（81ページ）
- 子機は同時に2台まで居留守モニターで相手の声を聞くことができます。

録音された用件を聞く（用件再生）

親機で用件を再生する

再生/停止

 押す

●新しい用件と着信日時を、1件目からお知らせします。新しい用件がなく、一度聞いた用件があるときは、一度聞いた用件が再生されます。
●留守セット中に、新しい用件をすべて再生すると［留守］が点滅から点灯に変わります。

子機で用件を再生する（［切］を押してから操作します）

機能/録音

 押す → **押す** → **押す** → **終わるときは** **押す**

▶2:サイセイ

●このとき、 を押しても再生できます。

●新しい用件と着信日時を、1件目からお知らせします。新しい用件がなく、一度聞いた用件があるときは、一度聞いた用件が再生されます。
●留守セット中に、新しい用件をすべて再生すると、親機の［留守］が点滅から点灯に変わります。

親機で用件をすべて消去する（用件全消去）

キャッチ/消去 ◯ **2秒以上押し続ける**

●通話録音（27ページ）した内容も含め、すべての用件が消去されます。

●再生中にできること

	親機	子機
いま再生中の用件を聞き直す	①	1ア
1つ前の用件を聞く	①→①（続けて押す）	1ア→1ア（続けて押す）
次の用件を聞く	③	3サ DEF
個別消去（用件を1つずつ消去する）	キャッチ/消去 ◯	キャッチ 消去
再生を止める	再生/停止 ◯	切

おしらせ

●通話録音した内容は、用件と一緒に再生されます。通話録音（27ページ）した内容を消去するには、用件の個別消去または全消去を行なってください。
●再生中の音量は、スピーカー音量を調節してください。（81ページ）
●ナンバー・ディスプレイをご利用になっていると、電話番号が表示され（ナンバースタンプ）、さらに、用件再生中、表示されている電話番号の相手に簡単に電話をかけることができます。（リターンダイヤル　65ページ）
●子機で用件を、一度にすべて消去することはできません。

応答メッセージについて

自分の声で応答メッセージを一種類つくることができます。（**自作メッセージ**）応答メッセージを録音すると自動的に、内蔵されている固定メッセージから自作メッセージに切りかわります。

親機で自作メッセージを録音する

機能/録音 ○ ① ① 押す → ② 押す → 受話器をとり、「ピーッ」と鳴ったら、録音する（最大約30秒）

●ダイヤルボタンを押します。

表示：rEAdY → rEC

●「FULL」と表示されたときは、録音できません。不要な用件を消去してください。(39ページ)

子機で自作メッセージを録音する
(切を押してから操作します)

機能/録音 戻る 押す → 電話帳/決定 下を1回押す → 電話帳/決定 押す → 電話帳/決定 下を1回押す

表示：ヨウケンサイセイ ▶ルスデン ソウサ → ▶ルスバンセッテイ オウトウメッセージ → ルスバンセッテイ ▶オウトウメッセージ

（続き）→ 録音を終了するときは 電話帳/決定 押す（表示：サイセイチュウ）→ 再生が終わったら 切 押す

●録音したメッセージが自動的に再生され、切りかわります。

自作メッセージの例：
「はい、○○です。ただ今、出かけております。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください。」

- 音楽などを録音すると、雑音が入ったり、音質が悪くなったりする場合があります。
- 用件を録音できる時間（37ページ）は、自作メッセージの長さに応じて短くなります。
- 自作メッセージを録音していても、録音の残り時間がなくなったときや録音件数が59件に達したときは、自動的に固定応答専用メッセージ（37ページ）に切りかわります。
- 自作メッセージがすでに録音されているときに、新たにメッセージを録音すると、新しい自作メッセージが上書きされます。
- 録音中に外から電話がかかってくると、録音は中止され、そこまでの内容が自作メッセージとして設定されます。録音し直してください。

次ページへつづく

録音を終了するときは

機能/録音

押す

●録音したメッセージが自動的に再生されます。

再生が終わったら

再生/停止

を押し、

受話器を戻す

押す

下を1回押す

押す

を押し、（下へ続く）

「ピーッ」と鳴ったら、録音する（最大約30秒）

●「ロクオンガ　イッパイデス」と表示されたときは、録音できません。不要な用件を消去してください。（39ページ）

留守番機能

親機で設定されている応答メッセージを確認する

機能/録音

押す

押す

●ダイヤルボタンを押します。

再生/停止

押す

●現在設定されている応答メッセージを再生します。

子機で設定されている応答メッセージを確認する（切を押してから操作します）

機能/録音

押す

下を1回押す

押す

下を1回押す（下へ続く）

（続き）

2回押す

押す

●現在設定されている応答メッセージを再生します。

応答メッセージについて

親機で応答メッセージを切りかえる

機能/録音
押す
押す

●ダイヤルボタンを押します。

（例）自作メッセージのとき

SEt 2

●現在の設定が表示されます。

子機で応答メッセージを切りかえる

(切を押してから操作します)

機能/録音
押す
下を1回押す
押す
下を1回押す

ヨウケンサイセイ
▶ルスデ゛ン ソウサ

▶ルスバ゛ンセッテイ
オウトウメッセージ゛

ルスバ゛ンセッテイ
▶オウトウメッセージ゛

(続き)
押す
押す

●応答メッセージを切りかえただけでは、留守セットされません。必ず、留守セットしてください。(38ページ)

親機で自作メッセージを消去する

機能/録音
押す
押す
機能/録音
押す

●ダイヤルボタンを押します。

PUSH Func

●自作メッセージが録音されていないときは「ピピピ」と鳴ります。

子機で自作メッセージを消去する

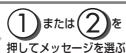
(切を押してから操作します)

機能/録音
押す
下を1回押す
押す
下を1回押す

ヨウケンサイセイ
▶ルスデ゛ン ソウサ

▶ルスバ゛ンセッテイ
オウトウメッセージ゛

ルスバ゛ンセッテイ
▶オウトウメッセージ゛

留守番機能

- 固定メッセージのとき ［1］ 押す
- 自作メッセージのとき ［2］ 押す

（例）固定メッセージのとき

SEt 1

機能/録音 押す

再生/停止 押す

- 「---------」と表示されたときは、自作メッセージが録音されていません。自作メッセージを録音してください。（40ページ）
- 応答メッセージを切りかえただけでは、留守セットされません。必ず、留守セットしてください。（37ページ）

押す

電話帳/決定 押す

上または下を押してメッセージを選ぶ

（下へ続く）

ロクオン
▶キリカエ

（例）自作メッセージのとき

コテイメッセージ
▶ジサクメッセージ

（例）固定メッセージのとき

▶コテイメッセージ
ジサクメッセージ

- 現在の設定が表示されます。

再生/停止 押す

押す

押す

キリカエ
▶ショウキョ

ショウキョ シマスカ?
YES=[ケッテイ]

- 自作メッセージが録音されていないときは「ピピピ」と鳴ります。

留守番機能

着信ベル回数を変える

留守番の応答メッセージが流れるまでの着信ベル回数を変えることができます。
お買い上げ時は、「トールセーバ」（47ページ）に設定されています。
トールセーバ、2回、5回、8回、11回の中から選ぶことができます。

親機で着信ベル回数を変える

機能/録音 ○ ① ② 押す → ダイヤルボタンで、着信ベル回数を選ぶ（⓪～④のいずれか1つ押す） （下へ続く）→

- ダイヤルボタンを押します。

（例）“トールセーバ” のとき

SEt 0

- 現在の設定が表示されます。

（続き）→ 機能/録音 押す → 再生/停止 押す

● 着信ベル回数（5種類）

押すボタン	回数	表示
⓪	トールセーバ	SEt 0
①	2回	SEt 2
②	5回	SEt 5
③	8回	SEt 8
④	11回	SEt 11

おしらせ

- 電話回線の状態により、外出先で聞こえる呼出音と本機の着信ベル回数が一致しない場合があります。（47ページ）

暗証番号の登録

（親機）

暗証番号（3桁）を登録すると、外出先から電話をかけて、留守番電話に録音されている用件を聞いたり、外出先からリモコン操作（46〜47ページ）で留守セットできます。

親機で暗証番号を登録・修正する

機能/録音 ① ③ 押す → ダイヤルボタンで、暗証番号を入力する（必ず3桁を入力） →（下へ続く）

●ダイヤルボタンを押します。

（例）登録していないとき

（例）“123 ” のとき

123

●すでに登録している場合でも暗証番号は表示されません。（「」と表示）修正するときは、ここで 機能／録音 を押します。

（続き）→ 機能/録音 押す → 再生/停止 押す

親機で暗証番号を消去する

機能/録音 ① ③ 押す → キャッチ/消去 押す → 機能/録音 押す →（下へ続く）

●ダイヤルボタンを押します。

（例）登録しているとき

PUSH Func

（続き）→ 再生/停止 押す

留守番機能

外出先から用件を聞く（リモコン操作）

暗証番号を登録しておくと外出先から自宅に電話をかけて、留守セットしたり、留守番電話に録音されている用件を聞くことができます。用件をすべて聞くと、約20秒間のリモコン待ち状態（ボタンを押せる状態）になります。外出先では、プッシュホンまたはトーン信号（ピッ、ポッ、パッ）を出せる電話機をお使いください。

1 暗証番号を登録する （45ページ）

2 お出かけ前に、留守セットする （37ページ）

親機の 押す（点灯または点滅）

3 外出先から用件を聞く

自宅に電話をかける

↓

応答メッセージが聞こえたら
(#) 暗証番号を押す（約30秒以内）

- 約8秒以上間隔をあけないでください。

↓

新しい用件が
1件目から再生される

- 再生が終わると「再生が終わりました」とお知らせします。
- 新しい用件がないときは、一度聞いた用件を再生します。一度聞いた用件も録音されていないときは「用件は録音されていません」とお知らせします。

↓

電話を切る

再生中にできること	押すボタン
再生を止める （リモコン待ち状態に移る）	(2) を押す
再生中の用件を聞き直す	(1) を押す
1つ前の用件を聞く	(1) を2回押す （約2秒以内に約1秒間隔で続けて押す）
次の用件を聞く	(3) を押す
現在再生中の用件を消去する （個別消去）	(#) (4) を押す

再生終了後(約20秒間)にできること	押すボタン
用件をはじめから聞き直す	(2) を押す
留守セット／解除する	(#) (6) を押す
用件をすべて消去する	(#) (＊) を押す

おしらせ

- 「3 外出先から用件を聞く」で、「(#) 暗証番号」を押しても、用件が再生されないときは、再度、「(#) 暗証番号」を押してください。
- 暗証番号を押し間違えても、電話は切れませんが、入力間隔を約8秒以上あけると、電話は切れます。
- 自作メッセージを録音していても、録音の残り時間がなくなったときや、録音件数が59件に達したときは、自動的に固定応答専用メッセージ（37ページ）になります。録音された用件が必要ないときは、個別消去するか、リモコン操作で用件再生後、「再生が終わりました。録音がいっぱいです。これ以上録音できません。」と聞こえたら (#) を押してから、(＊) を押して、用件をすべて消去してください。
- リモコン操作で用件を聞いても、留守セットは解除されません。

トールセーバ機能

用件が録音されていないときは、約6回目の呼出音でつながり、録音されると約3回目の呼出音でつながります。留守番が着信する前の呼出回数で、新しい用件の有無を確認することができるので便利です。

外から電話をかける

約3回目の呼出音でつながったとき
→新しい用件が録音されています。

暗証番号を入力すると、新しい用件1件目から再生します。

外から電話をかける

約3回目の呼出音でつながらず、約6回目でつながったとき
→新しい用件が録音されていません。
（4回目の呼出音が聞こえてすぐに電話を切ると、通話料金がかかりません。）

- どちらの場合も、電話がつながったら通話料金がかかります。
- 電話回線の状態により、外出先で聞こえる呼出音と本機の呼出音の回数が一致しないことがあります。

外出先から留守セットする

（あらかじめ暗証番号の登録が必要です。45ページ）

自宅に電話をかけ呼出音を約15回鳴らす

固定応答専用メッセージ（「おそれいりますが、のちほどおかけ直しください。」）が聞こえたら、

(#) 暗証番号を押す

- 用件があるときは、1件目から再生されます。このとき (2) を押す、または用件をすべて再生すると、リモコン待ち状態になります。
- 用件がないとき「用件は録音されていません」と聞こえ、リモコン待ち状態になります。

(#) (6) と押す

「留守を設定しました。」と聞こえたら、電話を切る

留守番機能

■ リモコン操作がうまくできないときは

症　状	対　応
留守セット／解除ができない	もう一度 (6) を押すか、(#) を押してから (6) を押す操作を素早く行なってください。
用件をすべて消去できない	もう一度 (✻) を押すか、(#) を押してから (✻) を押す操作を素早く行なってください。
個別消去できない	もう一度 (4) を押すか、(#) を押してから (4) を押す操作を素早く行なってください。
1つ前の用件を聞くことができない	同じ用件がくり返し再生される場合は、もう一度 (1) を素早く2回押してください。

親機の短縮ダイヤルを登録する

よくかける相手の電話番号を、親機の短縮ダイヤルに最大20件登録することができます。さらに、短縮ダイヤルの "01"～"03" に登録すると、自動的に"ワンタッチダイヤル１"～"ワンタッチダイヤル3" に登録されます。短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルを利用すると、簡単にかけることができます。（22～23ページ）

親機で短縮ダイヤルを登録する（最大20件）

機能/録音 ○ 短縮 ○ 押す ➡ ダイヤルボタンで、登録したい短縮番号を押す（00～19のいずれか2桁）

①②③ ④⑤⑥ ⑦⑧⑨ ✱ ⓪ ＃

（例）短縮番号“00”のとき

⓪⓪

- 短縮ダイヤルの"01"～"03"に登録すると、自動的にワンタッチダイヤル"1"～"3"として登録されます。

親機で短縮ダイヤルを修正する

短縮 ○ 押す ➡ ダイヤルボタンで、修正したい短縮番号を押す（00～19のいずれか2桁）

①②③ ④⑤⑥ ⑦⑧⑨ ✱ ⓪ ＃

（例）短縮番号“00”のとき

⓪⓪

- ✱ または ＃ を押して選ぶこともできます。
- 短縮ダイヤルの"01"～"03"を修正すると、自動的にワンタッチダイヤル"1"～"3"も修正されます。

親機の発信履歴から短縮ダイヤルに登録する（最大20件）

発信/着信履歴 ○ 押す ➡ ✱ または ＃ を押して電話番号を選ぶ ➡ 短縮 ○ 押す

0312345678 発

- 発信履歴がないときは、着信履歴が表示されます。
- ＃ を押すと、さかのぼって表示していきます。
- 未登録の短縮番号に自動的に登録されます。短縮番号を自分で選びたいときは、＃ または ✱ を押して、登録したい短縮番号を選んでください。

親機で短縮ダイヤルを確認・消去する

短縮 ○ 押す ➡ ダイヤルボタンで、確認または消去したい短縮番号を押す（00～19のいずれか2桁） ➡ キャッチ/消去 ○ 押す

（例）短縮番号“00”のとき

⓪⓪

- ✱ または ＃ を押して選ぶこともできます。
- 確認を終えるときは、再生／停止 を押します。
- 短縮番号と電話番号が点滅します。

おしらせ

- 短縮ダイヤルを修正すると、対応するワンタッチダイヤル（22ページ）も修正されます。ワンタッチダイヤルに登録している相手を短縮ダイヤルから消去すると、ワンタッチダイヤルも解除されます。

ダイヤルボタンで、市外局番から
電話番号を入力する（最大20桁）

①②③
④⑤⑥
⑦⑧⑨
⊛⓪⊕

●ポーズを入れたいときは、発信/着信履歴を押します。

機能/録音 押す

短縮番号	ワンタッチダイヤル
01	ワンタッチダイヤル1
02	ワンタッチダイヤル2
03	ワンタッチダイヤル3

機能/録音 押す

ダイヤルボタンで、市外局番から
電話番号を入力する（最大20桁）

①②③
④⑤⑥
⑦⑧⑨
⊛⓪⊕

●ポーズを入れたいときは、発信/着信履歴を押します。
●電話番号を入力すると、表示されている番号はすべて消去されます。電話番号の一部修正はできません。

機能/録音 押す

電話帳

機能/録音 押す

キャッチ/消去 押す

■短縮番号とワンタッチダイヤル（22ページ）の関係

短縮番号	ワンタッチダイヤル
01	ワンタッチダイヤル1
02	ワンタッチダイヤル2
03	ワンタッチダイヤル3

親機のポーズについて

構内交換機（PBX）に接続してお使いのときは、市外局番の前に外線につなぐ番号（例：0）のあとに、発信/着信履歴を押してから（液晶画面に「 P 」と表示）、電話番号を入力して短縮ダイヤルに登録してください。短縮ダイヤルを使って、電話をかけたときに、発信音「ツー」が聞こえるまでの約4秒間のポーズ（待ち時間）を自動的にあけます。

（例）構内交換機（PBX）をご利用時

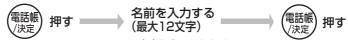
「0」などの外線接続番号＋ 発信/着信履歴（ポーズ） ＋電話番号

●短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルでかけるには、22～23ページをご覧ください。
●親機の着信履歴から短縮ダイヤルへ登録するには、63ページをご覧ください。

電話帳に登録する

よく利用される電話番号と名前を、子機ごとに、最大100件まで登録しておくことができます。また、子機の電話帳に登録した内容を、他の子機の電話帳にコピーすることもできます。(57ページ)
親機に電話帳はありません。

子機で電話帳に登録する(最大100件)

(切を押してから操作します)

●文字入力のしかたは52～53ページをご覧ください。

(例)はじめて登録するとき

登録できる残りの件数を表示

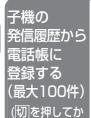
(例)"メグロ"のとき

(例) 7 2 ＊ 9
(4回)(3回)(1回)(5回)

■途中で止めるときは、切を押してください。

子機の発信履歴から電話帳に登録する(最大100件)

(切を押してから操作します)

右を押す

上または下を押して登録したい相手を選ぶ

機能/録音

戻る 押す

(例)"0312345678"へかけたとき

0312345678
発

子機のポーズについて

構内交換機(PBX)に接続してお使いのときは、市外局番の前に外線につなぐ番号(例:0)のあとに、上下左右(選択)の右を押してから(液晶画面に「P」と表示)、電話番号を入力して電話帳に登録してください。電話帳を使って電話をかけたときに、発信音「ツー」が聞こえるまでの約4秒間のポーズ(待ち時間)を自動的にあけます。

(例)構内交換機(PBX)をご利用時

「0」などの外線接続番号 ＋

(ポーズ) ＋ 電話番号

おしらせ

- 時報(117)、天気予報(177)、電報(115)、番号案内(104)の4件があらかじめ登録されています。(修正・消去もできます。)
- ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、同一の電話番号を複数の名前で登録しないでください。正しく照合できなくなります。
- 通話中に 電話帳/決定 を押して電話帳の内容を確認することもできます。再度、電話帳/決定 を押すと、通話中の表示に戻ります。
- 子機の着信履歴から電話帳へ登録するには、63ページをご覧ください。

ダイヤルボタンで、
市外局番から電話番号を
入力する（最大20桁）

電話帳/決定 押す

（例）"0312345678"のとき

（例）0 3 1 2 3 4 5 6 7 8

●ポーズを入れたいときは、
上下左右（選択）の右を押します。

下を
1回押す → 電話帳/決定 押す → 名前を入力する
（最大12文字） → 電話帳/決定 2回
押す

●文字入力のしかたは
52～53ページを
ご覧ください。

子機で電話帳を確認する（切を押してから操作します）

上または下を
押して相手を選ぶ → 終わるときは 切 押す

●電話帳を表示しているときに、1（ア行）～9（ラ行）、0（ワ行）のいずれかを押すと、そのボタンに書かれている50音の行の最初の名前が表示されます。（一文字検索　56ページ）
●上下左右（選択）の下を押すと、「名前」が未入力→スペース→記号→数字→英字→小文字カタカナ（ヲを含む）→カタカナの順で表示されます。
●よくかける相手の検索順位を上位にするときは、名前の最初にスペースをつけて登録してください。（例：「　サトウ」「　メグロ」…）
スペースをつけて登録すると、スペースの次の文字から50音順に表示されます。
●電話番号のみを登録した相手が複数あると、検索時の表示順は不定になります。
（登録順には表示されません。）

文字を入力する

子機には、電話帳の登録（50～51ページ）、名称登録（82～83ページ）などの文字を入力して活用する機能があります。文字の入力が必要になったときは、このページを参照してください。
（親機は、文字を入力できません。）

■文字入力対応表

ボタン	[ア]表示	[A]表示	[1]表示
1ア	アイウエオァィゥェォ	スペース(空白)	1
2カ ABC	カキクケコ	ABCabc	2
3サ DEF	サシスセソ	DEFdef	3
4タ GHI	タチツテトッ	GHIghi	4
5ナ JKL	ナニヌネノ	JKLjkl	5
6ハ MNO	ハヒフヘホ	MNOmno	6
7マ PQRS	マミムメモ	PQRSpqrs	7
8ヤ TUV	ヤユヨャュョ	TUVtuv	8
9ラ WXYZ	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
0ワ	ワヲンー（長音）		0
＊ ゛゜	゛（濁点） ゜（半濁点）		＊
# 記号	！’（）ー．／		#

＜入力例＞

入力文字を表示

文字の種類（[ア]、[A]、[1]を表示）
電話番号入力時は表示されません。

カーソル
間違えたときは、上下左右（選択）の右または左を押して、修正する箇所にカーソルを移動して、入力し直してください。

姓と名の間にスペースを入れると、見やすいです。

電話帳

記号を入力する

[ア]または[A]が表示されているときに を押し、記号一覧を表示させてから、着信履歴・電話帳/決定・発信履歴 の右または左を押して記号を選ぶ → 押す

選択中

（例）"/" のとき

ナマエ? [ア]
メグロ/

同じボタンの文字を続けて入力する （例）「アイ」を入力する場合	1ア を1回押し、「ア」を表示させてから 着信履歴・電話帳/決定・発信履歴 を1回押し、カーソルを右へ移動してから 1ア を2回押す
スペースを入れる	[A] を表示させてから 1ア を押す
カーソルを左に移動する	着信履歴・電話帳/決定・発信履歴 左を押す
カーソルを右に移動する	着信履歴・電話帳/決定・発信履歴 右を押す
途中で入力をやめる	切 を押す
文字を挿入する	挿入位置の次の文字にカーソルを移動し、文字を入力する
文字を修正する	修正する文字にカーソルを移動し、キャッチ 消去 を押して文字を消去してから正しい文字を入力する
文字を消去する	消去する文字にカーソルを移動し、キャッチ 消去 を押す （ただし、電話番号の一部修正はできません。）
文字をすべて消去する	キャッチ 消去 を2秒以上押す

電話帳

電話帳を修正・消去する

子機で電話帳を修正する
（切を押してから操作します）

上または下を押して修正したい相手を選ぶ → 機能/録音 押す

▶トクバンダイヤル
　シュウセイ

→ 下を1回押す

　トクバンダイヤル
▶シュウセイ

→ 押す

子機で電話帳を消去する
（切を押してから操作します）

上または下を押して消去したい相手を選ぶ → 機能/録音 押す

▶トクバンダイヤル
　シュウセイ

→ 下を2回押す

　シュウセイ
▶ショウキョ(1ケン)

●一度にすべて消去したいときは、さらに、下を1回押して"ショウキョ(スベテ)"を選びます。

電話帳

●電話帳を消去中、電話をかけたり受けたりすることができません。このとき電話がかかってくると、消去が終わってから呼出音が鳴りはじめます。

（子機）

名前を修正する
（最大12文字）

● 文字入力のしかたは
52～53ページを
ご覧ください。

 押す

ダイヤルボタンで、
電話番号を修正する
（最大20桁）

● 電話番号を入力すると、表示
されている番号はすべて消去
されます。電話番号の一部修
正はできません。

 押す

 押す

ショウキョ シマスカ?
YES=[ケッテイ]

 押す

 押す

電話帳

電話帳を使ってかける

（子機）

子機で電話帳を使ってかける（切を押してから操作します）

上または下を押して相手を選ぶ

押す

（または　充電器上にあるときは充電器からとる）

■かける相手を名前の頭文字から探して（一文字検索）かける

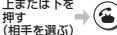
下を1回押す

1ア～9ラWXYZ、0ワ 押す

（50音の行の最初の名前を表示）

（いずれか1桁）

上または下を押す（相手を選ぶ）

押す

（または　充電器上にあるときは充電器からとる）

（例）「メグロ　タロウ」のときは、 7 を押してから、上下左右（選択）の上または下を押して、選んでください。

電話帳

子機で電話帳の相手に184や186などをつけてかける（特番ダイヤル）（切を押してから操作します）

上または下を押して相手を選ぶ

機能/録音

戻る 押す

▶トクバンダイヤル
シュウセイ

電話帳/決定 押す

特番ダイヤルを入力する（最大10桁）

押す

（例）非通知でかけるときは
1 8 4 押す
（例）通知してかけるときは
1 8 6 押す

おしらせ

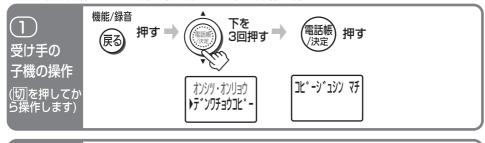
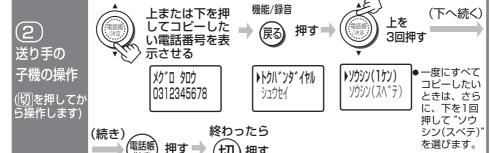
- 電話帳表示中に、子機の［外線］を押すかわりに、［ハンズフリー］を押すと、表示されている電話番号に自動的に電話をかけ、ハンズフリーで通話することができます。（26ページ）
- 携帯通話プリセット機能（70～75ページ）を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の液晶画面の「 」が約5秒間点滅します。

電話帳をコピーする（電話帳コピー）

子機を2台以上お使いのときは、子機に登録した電話帳の内容を他の子機にコピーすることができます。親機へのコピー（または親機からのコピー）はできません。

■コピーするときは、親機の近くに受け手と送り手の子機を持ってきてください。

■受け手の操作のあと、約1分以内に送り手の操作を行なってください。

電話帳

■コピーが終わったら、受け手の子機の 切 を押してください。

■コピーを途中で止めたいときは、切 を押してください。 切 を押したときまでの電話帳の内容がコピーされ、通常状態に戻ります。

■電話帳の内容を、一度にすべてコピーする場合でも、まず受け手の操作の後、送り手の 上下左右（選択） の下を押して、電話帳を表示させ、機能/録音/戻る を押す操作から行なってください。

♪ワンポイント

子機が3台以上あるときは、1台目のコピー終了後、同じ内容を続けて別の子機にコピーすることができます。1台目のコピー終了後、送り手の子機は 切 を押さずに、約1分以内に下記操作を行なってください。

1. 2台目の受け手の子機で、受け手の操作を行ないます。
2. 送り手の子機で、電話帳／決定 を押します。
3. 3台目の受け手の子機で、受け手の操作を行なってから、2を行なってください。

- 受け手の電話帳に登録してある電話番号と同一の電話番号は、コピーされません。
- 受け手の登録件数と送り手の電話帳の登録件数の合計100件までコピーすることができます。
- コピー中に電話がかかってきたり、内線呼出しがあると、そこで電話帳コピーは中断されます。受け手の操作からやり直してください。また、停電、電波干渉の影響、電池残量によって、電話帳のコピーが中止される場合があります。
- 電話帳コピーに必要な時間（データ処理時間）は、コピーする件数により異なります。

ナンバー・ディスプレイを利用する

本機は、NTT東日本・NTT西日本の ナンバー・ディスプレイ キャッチホン・ディスプレイ に対応しています。

■ 設定されているときは、親機の液晶画面に「 iD 」が表示されています。子機の液晶画面には表示されません。

■ **ナンバー・ディスプレイ**（NTTとの契約（有料）が必要です）
電話をかけた方の電話番号などが、受信側の液晶画面に表示されるサービスです。
子機では、電話帳に登録した相手の名前も表示します。通話状態になると、親機は通話時間表示に切りかわります。

■ **キャッチホン・ディスプレイ**（NTTとの契約（有料）が必要です）
電話でお話しをしているとき、別の人からかかってきた電話番号なども液晶画面に表示されるサービスです。あとからかかってきた別の人に通話を切りかえることができます。
本機では、通話中に「トゥルル」（着信表示音）と聞こえ、「ピポ」という音のあと キャッチ／消去 を押し、通話を切りかえます。キャッチホンでかかってきた電話も、相手の番号を表示（約30秒間）し、着信履歴に記録します。

■ **契約について**（2009年3月現在）

種類	工事費	月額使用料	申し込み先	主なサービス内容
ナンバー・ディスプレイ	有料	有料	局番なしの116	かけてきた相手の電話番号を表示する
キャッチホン・ディスプレイ	有料			キャッチホンの電話番号を表示する

■ **こんなときは・・・**

親機の表示	子機の表示	内容
----P----	ヒツウチ	電話番号を通知しないでかけてきたとき
----C----	コウシュウデンワ	公衆電話からかかってきたとき（公衆電話から「184」をつけてかけてきた場合は、非通知の表示になります。）
----O----	ヒョウジケンガイ	海外、新幹線電話、船舶電話などのナンバー・ディスプレイを利用できない回線からかかってきたとき
--Error--	ジュシンエラー	回線の状態が悪い場合などで、ナンバー・ディスプレイのデータを正常に受信できなかったとき
CALL	チャクシン	ナンバー・ディスプレイ回線になっていないときや、番号情報が送られてこなかったとき

おしらせ

- 子機の電話帳に、電話番号以外の「 ＊ 」、「 ＃ 」、「P（ポーズ）」を登録すると、名前が表示されない場合があります。
- ホームテレホンや構内交換機（PBX）に接続した場合、ナンバー・ディスプレイはご利用になれません。また、ISDN回線のターミナルアダプターや他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが利用できないことがあります。くわしくは、接続機器のメーカーへお問い合わせください。
- 1本の電話回線で2台以上、電話機などの端末機器を接続すると、ナンバー・ディスプレイの機能が正しく動作しません。2台以上接続する場合は、どちらかの設定を解除するか、接続を1台にしてください。
- ADSLやひかり回線を利用したIP電話サービスなどをご利用の場合、機器の接続や設定によりナンバー・ディスプレイの機能が動作しないことがあります。くわしくは、ご契約のプロバイダーへお問い合わせください。
- ナンバー・ディスプレイは、NTTの他のサービスと同時にご利用になれない場合があります。くわしくは、NTT窓口（お客様サービス116番）へお問い合わせください。
- キャッチホン・ディスプレイご利用時、キャッチホン着信時には「ピポ」と聞こえ、最大約1秒程度通話がとぎれます。この音と通話中の声が重なりますと、電話番号などが正しく表示できない場合があります。なお、ダイヤル中、保留中、留守応答中、リモコン操作中、各ガード動作中にキャッチホンで割り込んできた相手の電話番号や着信情報は表示されません。
- 本機はネーム・ディスプレイに対応しておりません。

ナンバー・ディスプレイの設定

（親機）

ナンバー・ディスプレイを利用するには、親機の設定が必要です。お買い上げ時は「ON」に設定されています。ご利用にならない場合は、「OFF」にしてください。（キャッチホン・ディスプレイもご利用の場合は、親機の設定が必要です。）**親機で設定すると、親機やすべての子機で利用できます。**

■設定されているときは、親機の液晶画面に「 iD 」が表示されています。

親機でナンバー・ディスプレイを設定する

機能/録音 ⑤ 押す → ① 押す → 機能/録音 押す → 再生/停止 押す

SEt On

●親機に iD が表示されます。

親機でキャッチホン・ディスプレイを設定する

機能/録音 ⑤ 押す → ② 押す → 機能/録音 押す → 再生/停止 押す

SEt On-CAt

●親機に iD が表示されます。

親機で解除する

機能/録音 ⑤ 押す → ③ 押す → 機能/録音 押す → 再生/停止 押す

SEt OFF iD

●親機の iD が消えます。

●自分の電話番号を相手に通知するかしない（非通知）か選べます。

	常に決めておく（回線ごと）	かけるたびに選ぶ（通話ごと）
通知するとき	NTT に「通常通知」申し込み	①⑧⑥ をつけてかける（22ページ）
通知しないとき	NTT に「通常非通知」申し込み	①⑧④ をつけてかける（22ページ）

＊お客様の電話回線契約を知りたいときなどは、NTT窓口（お客様サービス116番）へお問い合わせください。

着信履歴

かけてきた相手の電話番号と日時を、親機と子機に自動的に記録します。（親機／子機　それぞれ30件、20桁）留守応答する前や電話にでる前に電話を切られてしまったり、ガード機能がはたらいたときなども着信履歴に記録されます。着信履歴を利用して、かけ直したり、かけてきた相手の電話番号を親機の短縮ダイヤルや子機の電話帳に登録することもできます。（63ページ）

親機で着信履歴を確認する

発信/着信履歴　2回押す → ＊ または ＃ を押して確認する → 再生/停止　押す

06 12345678　着　iD

- 着 が表示されます。
- 発信履歴がないときは1回押しただけで表示されます。
- ＃ を押すと、さかのぼって表示していきます。

子機で着信履歴を確認する
（切を押してから操作します）

左を押す → 上または下を押して確認する → 切　押す

12月24日12：34
0612345678
着

- 下を押すと、さかのぼって表示していきます。

子機の着信履歴に184や186などをつけてかける（特番ダイヤル）
（切を押してから操作します）

左を押す → 上または下を押して相手を選ぶ → 機能/録音 戻る　押す

12月24日12：34
0612345678
着

- 下を押すと、さかのぼって表示していきます。

▸トクバンダイヤル
デンワチョウトウロク

おしらせ

- 必ず、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。（58ページ）
- 親機は、着信履歴で電話番号を表示中、機能／録音 を押すと、着信日時の表示に切りかわります。もう一度押すと、電話番号の表示に戻ります。
- 子機の電話帳に登録（50～51ページ）した相手のときは、子機で着信履歴確認時、名前を表示します。相手の名前を表示中に ＃ を押すと、電話番号表示に切りかわります。もう一度押すと名前の表示に戻ります。
- キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合（58ページ）、キャッチホンで割り込んできた着信のときは、子機は、日時のあとに「＊」を表示します。
- 特定番号からの電話は、子機の着信履歴に「■トクテイガード■」と表示します。（66ページ）このとき ＃ を押すと、電話番号を表示します。
- 親機で着信履歴に184や186などをつけてかけること（特番ダイヤル）は、できません。

親機で着信履歴からかける

発信/着信履歴 2回押す

● 着 が表示されます。
● 発信履歴がないときは1回押しただけで表示されます。

→ ＊▲ または ＃▼ を押して確認する

● ＃ を押すと、さかのぼって表示していきます。

→ 受話器をとる（または 発信 押す）

● 自動的にダイヤルします。

→ 通話が終わったら受話器を戻す

子機で着信履歴からかける
（切 を押してから操作します）

左を押す

→ 上または下を押して相手を選ぶ

● 下を押すと、さかのぼって表示していきます。

→ 押す

● 自動的にダイヤルします。

→ 通話が終わったら充電器に戻す（または 切 押す）

→ 押す → 特番ダイヤルを入力する（最大10桁）

（例）非通知でかけるときは 1 8 4 押す
（例）通知してかけるときは 1 8 6 押す

→ 押す

● 自動的にダイヤルします。

→ 通話が終わったら充電器に戻す（または 切 押す）

おしらせ

● 携帯通話プリセット機能（70～75ページ）を利用して、着信履歴から携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき親機の液晶画面の「 」が約5秒間点滅します。

着信履歴

親機で着信履歴を消去する

発信/着信履歴 2回押す → ＊▲ または ＃▼ を押して消去したい相手を選ぶ → キャッチ/消去 押す （下へ続く）

06 1234567８

- 着 が表示されます。
- 発信履歴がないときは1回押しただけで表示されます。
- ＃ を押すと、さかのぼって表示していきます。
- 電話番号が点滅します。

（続き）→ キャッチ/消去 押す → 再生/停止 押す

子機で着信履歴を消去する

（切を押してから操作します）

着信履歴・電話帳/決定・発信履歴 左を押す → 上または下を押して消去したい相手を選ぶ → 機能/録音 戻る 押す （下へ続く）

12月24日12:34
0612345678
着

- 下を押すと、さかのぼって表示していきます。

（続き）→ 下を2回押す → 電話帳/決定 押す → 電話帳/決定 押す → 切 押す

デンワチョウトウロク
▶ショウキョ(1ケン)

ショウキョ シマスカ?
YES=[ケッテイ]

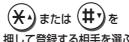
- 一度にすべて消去したいときは、さらに、下を1回押して、“ショウキョ（スベテ）” を選びます。

おしらせ

- 親機の着信履歴を一度にすべて消去したいときは、受話器を置いた状態で、親機の 発信/着信履歴 を2秒以上押します。親機の着信履歴を一度にすべて消去すると、発信履歴もすべて消去されます。（24～25ページ）

着信履歴から登録する

着信履歴を利用して、かけてきた相手の電話番号を親機の短縮ダイヤル（48～49ページ）や子機の電話帳（50～51ページ）に登録することができます。

親機の着信履歴から短縮ダイヤルに登録する（最大20件）

発信/着信履歴 2回押す → を押して登録する相手を選ぶ → 短縮 押す → 機能/録音 押す

06 12345678
着 iD

- 着 が表示されます。
- 発信履歴がないときは1回押しただけで表示されます。

- を押すと、さかのぼって表示していきます。

- 未登録の短縮番号に自動的に登録されます。短縮番号を自分で選びたいときは、＃ または ＊ を押して、登録したい短縮番号を選んでください。

子機の着信履歴から電話帳に登録する（最大100件）

（切を押してから操作します）

着信履歴 左を押す → 上または下を押して登録する相手を選ぶ → 機能/録音（戻る） 押す →（下へ続く）

12月24日12：34
0612345678
着

▸トクバンダイヤル
デンワチョウトウロク

（続き）→ 下を1回押す → 電話帳/決定 押す → 名前を入力する（最大12文字）→ 電話帳/決定 2回押す

トクバンダイヤル
▸デンワチョウトウロク

ナマエ?　　[ア]

- 文字入力のしかたは52～53ページをご覧ください。

- 電話番号が通知されない着信情報（非通知、公衆電話、表示圏外、受信エラー）は、親機の短縮ダイヤルや子機の電話帳に登録することはできません。

相手によって呼出音を変える（鳴り分け）

親機の短縮ダイヤル（48〜49ページ）に登録した相手からの電話を、通常の呼出音と違う6種類の呼出音で鳴らすことができます。また、子機の電話帳（50〜51ページ）に登録した相手からの電話を、電話番号ごとに10種類の呼出音で鳴り分けることができます。親機は、電話番号ごとに設定できません。お買い上げ時は、「OFF」（解除）に設定されています。

親機で鳴り分けを設定／解除する

機能/録音 ②③ 押す →

- ダイヤルボタンを押します。

（例）解除しているとき

SEt OFF

- すでに設定されているときは、設定されている呼出音が鳴ります。

ダイヤルボタンで、呼出音を選ぶ（①〜⑥のいずれか1つ押す）（下へ続く）

- 押すたびに呼出音が鳴ります。
- 解除するときは 0 を押します。
- 鳴り分けの呼出音（6種類）

押すボタン	①	②	③	④	⑤	⑥	⓪
呼出音	ベル1〈高音〉	ベル1〈低音〉	チャイム	ファンファーレ	森のくまさん	ユーモレスク	OFF（解除）

（続き）→ 機能/録音 押す → 再生/停止 押す

子機で鳴り分けを設定／解除する

(切を押してから操作します)

上または下を押して相手を選ぶ → 機能/録音 戻る 押す → 上を1回押す（下へ続く）

メグロ タロウ
0312345678

ソウシン(スベテ)
▶ナリワケ

（続き）→ 電話帳/決定 押す → 上または下を押して呼出音を選ぶ → 電話帳/決定 押す → 切 押す

（例）解除しているとき

ナリワケ
◆OFF

- すでに設定されているときは、設定されている呼出音が鳴ります。
- 押すたびに呼出音が鳴ります。
- 解除するときは "OFF" を選びます。
- 鳴り分けの呼出音（10種類）

ベル1〈高音〉	ベル1〈低音〉	ベル2	チャイム	ファンファーレ	音階	森のくまさん	ユーモレスク	華麗なる大円舞曲	ラデツキー行進曲	OFF（解除）

- 必ず、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。（58ページ）
- 鳴り分けを正しく作動させるために、親機の短縮ダイヤル（48〜49ページ）や子機の電話帳（50〜51ページ）に電話番号を登録するときは、同一市内でも必ず、市外局番から登録してください。
- キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合（58ページ）、キャッチホンで割り込んで着信した相手に鳴り分けは、はたらきません。
- 「ベル1、ベル2」以外の呼出音に設定すると、かけてきた相手が電話を切っても、呼出音がすぐに鳴り止まないことがあります。

用件再生中に、その相手にかける(リターンダイヤル)

ナンバー・ディスプレイをご利用になると、留守録音した相手の電話番号が通知されているときは、用件再生中にかけてきた相手の電話番号を表示します。（ナンバースタンプ）さらに、用件再生中、表示されている電話番号や名前の相手に電話をかけることができます。（リターンダイヤル）

■ **必ず、用件を再生中、電話番号または名前（子機のみ）が液晶画面に表示されているときに行なってください。（用件再生　39ページ）**

親機のリターンダイヤルを使ってかける

親機で用件再生中に（39ページ）受話器をとる

（または 発信 押す）

- 再生が停止し、自動的にダイヤルします。
- 親機で用件再生中に、充電器から子機をとっても、リターンダイヤルで発信することはできません。

➡ **話す**

（発信 を押したときは、相手がでたら受話器をとり、話す）

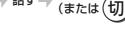
➡ **通話が終わったら受話器を戻す**

子機のリターンダイヤルを使ってかける

子機で用件再生中に（39ページ）充電器から子機をとるか、充電器上にないときは

 押す

- 再生が停止し、自動的にダイヤルします。
- 子機で用件再生中に、親機で受話器をとっても、リターンダイヤルで発信することはできません。

通話が終わったら充電器に戻す

- 必ず、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。（58ページ）
- 電話番号が表示されないときは（非通知、公衆電話、表示圏外、受信エラー）、リターンダイヤルを使ってかけることはできません。
- 携帯通話プリセット機能（70～75ページ）を利用して、リターンダイヤルで携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の液晶画面の「 ▮ 」が約5秒間点滅します。

ガード機能

ナンバー・ディスプレイをご利用になると、迷惑電話などを拒否するガード機能（下記4種類）をご利用いただけます。お買い上げ時は、「OFF」（解除）に設定されています。
これらの機能は、親機で設定すると、親機やすべての子機で利用できます。
また、呼出音が鳴っているときに、かかってきた相手の電話番号を確認してから、ガードボタンを押して、お断りのメッセージを流して自動的に電話を切ることができます。(29ページ)

ガード機能の種類	ガード動作時の親機の液晶画面表示	機能説明（上段）とガードメッセージ（下段）
非通知ガード （設定方法 ➜ 67ページ）	----P----	「非通知」でかけてきた電話の呼出音を鳴らさずに、ガードメッセージを流し、自動的に電話を切ります。 「おそれいりますが、電話番号のまえに186をつけてダイヤルするか、番号を通知できる電話から、おかけ直しください。」
公衆電話ガード （設定方法 ➜ 67ページ）	----C----	「公衆電話」からかけてきた電話の呼出音を鳴らさずに、ガードメッセージを流し、自動的に電話を切ります。 「おそれいりますが、番号を通知できる電話から、おかけ直しください。」
表示圏外ガード （設定方法 ➜ 67ページ）	----O----	「表示圏外」からかけてきた電話の呼出音を鳴らさずに、ガードメッセージを流し、自動的に電話を切ります。 「おそれいりますが、番号を通知できる電話から、おかけ直しください。」
特定番号ガード （登録方法 ➜ 68ページ）	0312345678 （相手の電話番号）	ガードしたい相手の電話番号を特定番号として登録（最大30件／20桁）しておくと、「特定番号」からかかってきた電話の呼出音を鳴らさずに、ガードメッセージを流し、自動的に電話を切ります。 「申し訳ありませんが、こちらの都合により電話をおつなぎすることができません。」

●ガード動作時、子機は「カイセン　シヨウチュウ」と表示されます。
●ガード動作時、親機や子機で電話にでることはできません。電話をかけようとすると、警告音が鳴ります。

親機の ガード 特定 公衆 非通知 圏外 表示について

設定されている機能名が枠内に表示され、いずれかのガードメッセージが流れているときは、動作中の機能名が点滅します。子機では、設定の確認や動作中の確認はできませんので、親機で確認してください。

おしらせ

●必ず、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。(58ページ)
●ガード機能を設定すると、緊急の用件でも、ガードした相手の呼出音は鳴りませんので、登録・設定するときは十分ご注意ください。
●かけてきた相手にガードメッセージが流れると、相手に通話料金がかかります。
●キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合（58ページ）、キャッチホンで割り込んで着信した相手にガード機能は、はたらきません。（特定番号ガードに登録している相手でも拒否することができません。）
●ガード機能が動作した直後に電話をかけると、ガードした相手とつながる場合があります。電話をかけるときは少ししてからかけてください。
●ガード機能を設定しても、かかってきた迷惑電話は着信履歴に記録されます。(60ページ)

親機で非通知ガードを設定／解除する

機能/録音
押す

設定するとき ① 押す
解除するとき ② 押す
（下へ続く）

（続き）
機能/録音 押す
再生/停止 押す

●設定すると、親機に
が表示されます。

親機で公衆電話ガードを設定／解除する

機能/録音
押す

設定するとき ① 押す
解除するとき ② 押す
（下へ続く）

（続き）
機能/録音 押す
再生/停止 押す

●設定すると、親機に
が表示されます。

親機で表示圏外ガードを設定／解除する

機能/録音
押す

設定するとき
押す
解除するとき
押す
（下へ続く）

（続き）
機能/録音 押す
再生/停止 押す

●設定すると、親機に
が表示されます。

親機で特定番号（最大30件）を登録する

機能/録音 ○ ⑥④ 押す → ① 押す → ダイヤルボタンで、市外局番から電話番号を入力する（最大20桁）

（例）“0312345678”のとき

03 12345678_

●途中で入力し直すには、キャッチ／消去を押してください。

親機で着信履歴から特定番号（最大30件）を登録する

発信/着信履歴 ○ 2回押す → ＊▲または＃▼を押して相手を選ぶ → キャッチ/消去 ○ 押す

06 12345678

● 着 が表示されます。

●発信履歴がないときは1回押しただけで表示されます。

●＃を押すと、さかのぼって表示していきます。

●電話番号が点滅します。

親機で特定番号を確認する

機能/録音 ○ ⑥④ 押す → ② 押す → ＊▲または＃▼を押して確認する

（例）“0312345678”のとき

●＃を押すと、さかのぼって表示していきます。

親機で特定番号を消去する

機能/録音 ○ ⑥④ 押す → ② 押す → ＊▲または＃▼を押して消去する番号を選ぶ

（例）“0312345678”のとき

03 12345678

●＃を押すと、さかのぼって表示していきます。

おしらせ

●電話番号が通知されていない着信情報（非通知、公衆電話、表示圏外、受信エラー）は、特定番号に登録することができません。

●特定番号に登録した電話番号が30件を超えると、登録できなくなります。不要になった特定番号を消去してください。

機能/録音 押す ➡ 再生/停止 押す

●親機に ガード 特定 が表示されます。

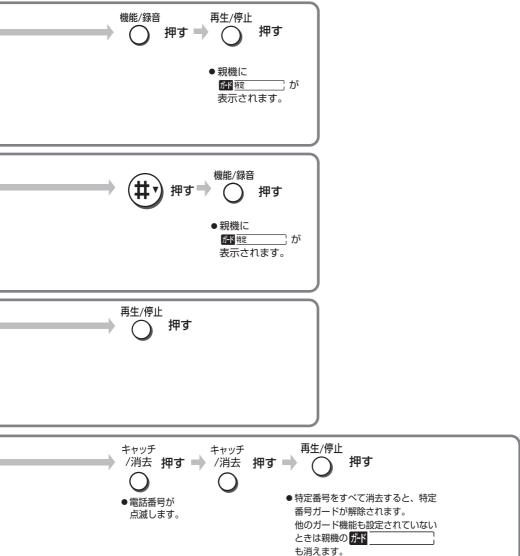
＃▼ 押す ➡ 機能/録音 押す

●親機に ガード 特定 が表示されます。

再生/停止 押す

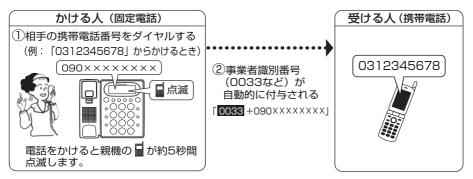
キャッチ/消去 押す ➡ キャッチ/消去 押す ➡ 再生/停止 押す

●電話番号が点滅します。

●特定番号をすべて消去すると、特定番号ガードが解除されます。他のガード機能も設定されていないときは親機の ガード も消えます。

●特定番号からの電話は、子機の着信履歴に「▮トクテイガード▮」と表示されます。このとき ＃ を押すと、電話番号を表示します。（着信履歴　60ページ）
●特定番号ガードの設定・解除の方法はありません。特定番号ガードを解除したいときは、特定番号を1件ずつすべて消去してください。

携帯通話プリセット機能を使う

携帯通話プリセット機能とは、携帯電話へ電話をかけるとき、通話料金がおトクになるサービス（例：NTTコミュニケーションズの「0033モバイル」など）を利用するために、電話番号の前に事業者識別番号（例：NTTコミュニケーションズの場合は「0033」など）を自動的につけてダイヤルする機能です。通話料金、事業者識別番号、サービス内容につきましては、サービスを実施している各固定電話サービス事業者へ詳細をご確認ください。

- 本機はお買い上げ時、NTTコミュニケーションズの「0033モバイル」が、そのままご利用いただけるように設定されています。（親機の液晶画面に「 」が表示されています。）
- NTTコミュニケーションズへのお申し込み手続きは不要です。
- NTTコミュニケーションズ以外の他の固定電話サービス事業者に変更するときは、72～75ページの操作で、事業者識別番号を変えてください。
- 通話料金は、利用した固定電話サービス事業者から請求されます。（2009年3月現在）

■次の場合は、「携帯通話プリセット機能」はご利用になれません。
必ず設定を「OFF」（解除）にしてください。

- NTT東日本・NTT西日本の「ひかり電話」ご利用時
- NTT東日本・NTT西日本以外のサービス事業者が提供する直収電話サービス（8ページ）ご利用時
- ホームテレホンや構内交換機（PBX）接続時
- 固定電話から携帯電話への通話サービスを利用しない場合

- **次の場合は、ご利用になれます。**
  - ・「184」や「186」をつけてかけたとき
    携帯通話プリセット機能を「NTTコミュニケーションズ(0033)」に設定していると、
    →184（または186）＋ 0033 ＋090××××××××とダイヤルされます。
  - ・リダイヤル、発信履歴からかけ直すとき（24～25ページ）
  - ・ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを使ってかけるとき（22～23ページ）
  - ・電話帳を使ってかけるとき（56ページ）
  - ・着信履歴（61ページ）からかけ直すとき※
  - ・リターンダイヤル（65ページ）でかけるとき※

  ※…ナンバー・ディスプレイご利用時
- **IP電話サービスをご利用の場合は、73ページまたは74ページの「IP電話を利用しているとき」の設定を行なってください。**

次ページへつづく

ご注意

●マイラインおよびマイラインプラスの登録に関係なくご利用になれます。
●PHSへの通話では、ご利用いただけません。
●通話先、通話時間、固定電話サービス事業者の料金体系によっては、一部お安くならない場合があります。くわしくは、ご利用の固定電話サービス事業者へお問い合わせください。

携帯通話プリセット機能の設定について

●IP電話ご利用などで、固定電話から携帯電話への通話サービスをご利用にならない場合は、設定を「OFF」（解除）にしてください。「ON」（設定）にしてご使用になりますと、携帯電話への通話料金は、選択した（または設定した）固定電話サービス事業者のご利用分として請求されます。
●IP電話サービスをご利用時、接続するVoIP機器（ルーターなど）によっては、本機能が正しくはたらかない場合があります。

操作について

●次の場合は、本機能ははたらきません。
・通話中に キャッチ／消去 を利用して電話をかけるとき（トリオホンご利用時など）
・ポーズを入れて登録した短縮ダイヤル（48〜49ページ）や電話帳（50〜51ページ）の相手に、電話をかけたとき
・電話をかけるときに「ツー」音が聞こえてから、約18秒以内に携帯電話番号の最初の4桁をダイヤルしなかったとき
●携帯通話プリセット機能がはたらく場合は、ダイヤルボタンを押しても、しばらくダイヤル音が聞こえない場合があります。これは本機が事業者識別番号の付与判断を行なっているためであり、故障ではありません。
●電話番号の前に、携帯通話プリセット機能解除番号「0000」をつけてダイヤルすると、一時的に携帯通話プリセット機能を解除して電話をかけることができます。
●携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作など、一部サービスをご利用いただけない番号があります。この場合は、通話状態にして（親機は受話器をとる、子機は［通話］を押す）、電話番号の前に「0000」（携帯通話プリセット機能解除番号）を押してから、ダイヤルしてください。

事業者識別番号について

●本機でこの機能をご利用になるときは、携帯電話番号の前に「事業者識別番号」や「加入電話選択番号」（73・74・75ページ）をダイヤルしないでください。電話をかけることができなくなったり、通話料金が異なる場合があります。事業者識別番号を消去することはできません。
●事業者識別番号は、各事業者ごとに異なります。事業者識別番号や料金体系など、サービスの内容につきましては、各固定電話サービス事業者にお問い合わせください。

「携帯番号帯」について

●「080」「090」で始まる携帯電話番号の上位4桁のことです。あらかじめ携帯番号帯が18件設定されています。変更や登録はできません。
●「0800」「0900」は、携帯通話プリセット機能の対象にはなりません。

●設定されている携帯番号帯（18件）

0801	0805	0809	0901	0905	0909
0802	0806		0902	0906	
0803	0807		0903	0907	
0804	0808		0904	0908	

（2009年3月現在）

お買い上げ時に本機の携帯通話プリセット機能で登録・設定されている「0033モバイル」（NTTコミュニケーションズ）に関しては、**NTTコミュニケーションズカスタマーズフロント**にお問い合わせください。

コールコール
0120−506506

受付時間：午前9：00〜午後9：00
（年末年始は除きます）（2009年3月現在）

●本機の機能・設定に関するお問い合わせは、弊社お客様相談室（111ページ）にお問い合わせください。

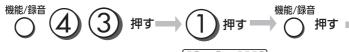
携帯通話プリセット機能を使う

お買い上げ時は「ON　0033」[IP電話サービス非利用] に設定されています。
（親機の液晶画面に ▮ が表示されています。）
親機で設定すると、親機やすべての子機で利用できます。

親機で解除する
（ひかり電話・PBXなどをご利用の方）

SEt OFF

●親機の ▮ が消えます。

親機でNTTコミュニケーションズ(0033)を設定する

SEt On-0033

親機でNTTコミュニケーションズ(0033)以外の事業者を設定する

＊IP電話を利用していない場合

機能/録音 ○ ④ ③ 押す → ② 押す → 機能/録音 ○ 押す

SEt Etc

携帯通話プリセット

次ページへつづく

（親機）

①押す → 機能/録音 ○ 押す → 再生/停止 ○ 押す

（IP電話を利用しているときは、② 機能/録音 ○ と押し、加入電話選択番号（74ページ）を入力する）

●親機に ▮ が表示されます。

事業者識別番号※1（4〜6桁）と 機能/録音 ○ を入力する → ① 押す → 機能/録音 ○ 押す → 再生/停止 ○ 押す

（例）

⓪ ⓪

● ✱、＃、ポーズは入力できません。
●「00」から始まる数字を設定してください。
●「0000」「00000」「000000」は設定できません。
●新たに入力すると上書きされます。

●親機に ▮ が表示されます。

※1…事業者識別番号の例

固定電話サービス事業者	事業者識別番号
NTTコミュニケーションズ	0033
NTT東日本	0036
NTT西日本	0039

（2009年3月現在）

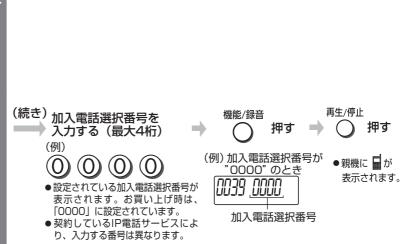
携帯通話プリセット

おしらせ

●事業者識別番号の設定に、市外局番や存在しない事業者識別番号を設定すると、相手につながりません。
●携帯通話プリセット機能を利用した場合、事業者識別番号は液晶画面に表示されません。リダイヤルや発信履歴にも記録されません。（ダイヤルした携帯電話番号のみ記録されます。）

携帯通話プリセット機能を使う

親機で
NTTコミュニケーションズ(0033)以外の事業者を設定する

＊IP電話を利用している場合

●「加入電話選択番号」とは、IP電話サービスをご契約時に、IP電話サービスを利用せずに電話をかける番号（例：0000、0009など）のことです。くわしくは、契約しているIP電話サービス事業者へお問い合わせください。

●携帯通話プリセット機能を利用した場合、事業者識別番号や加入電話選択番号は、液晶画面に表示されません。リダイヤルや発信履歴にも記録されません。（ダイヤルした携帯電話番号のみ記録されます。）

事業者識別番号※1(4～6桁)と 機能/録音 ◯ を入力する → ② 押す → 機能/録音 ◯ 押す （下へ続く）

（例）
⓪ ⓪ ③ ⑨ 機能/録音 ◯

- ＊、＃、ポーズは入力できません。
- 「00」から始まる数字を設定してください。
- 「0000」「00000」「000000」は設定できません。
- 新たに入力すると上書きされます。

※1…事業者識別番号の例

固定電話サービス事業者	事業者識別番号
NTTコミュニケーションズ	0033
NTT東日本	0036
NTT西日本	0039

（2009年3月現在）

音に関する機能の設定を変える

■外からの呼出音の種類を親機は6種類、子機は10種類（右表）の中から選ぶことができます。
お買い上げ時は「ベル1<高音>」に設定されています。

親機の呼出音の種類（呼出音質）を選ぶ

機能/録音   押す

●ダイヤルボタンを押します。
（例）ベル1<高音>のとき

SEt 1

●現在設定されている呼出音が鳴ります。

ダイヤルボタンで、呼出音の種類を選ぶ

（ ～ のいずれか1つ押す）

●押すたびに呼出音が鳴ります。

子機の呼出音の種類（呼出音質）を選ぶ

（切を押してから操作します）

機能/録音 押す → 下を2回押す → 電話帳/決定 押す → 押す

ﾙｽﾃﾞﾝ ｿｳｻ ▶ｵﾝｼﾂ・ｵﾝﾘｮｳ	▶ﾖﾋﾞﾀﾞｼｵﾝｼﾂ ﾖﾋﾞﾀﾞｼｵﾝﾘｮｳ	ﾖﾋﾞﾀﾞｼｵﾝｼﾂ ⇕ｴﾗﾝﾃﾞｸﾀﾞｻｲ

●現在設定されている呼出音が鳴ります。

■呼出音（外線・内線）の音量を5段階（音量1、音量2、音量3、音量4（特大）、消音）の中から選ぶことができます。お買い上げ時は「音量3」に設定されています。

親機の呼出音量を選ぶ

受話器をのせたままで 音量 ◯ 押す → 音量 ◯ を押して音量を選ぶ

（例）音量3のとき

000000_ _

●現在の設定が表示されます。

表示	音量
00000000	（音量4）
000000_ _	（音量3）
0000_ _ _ _	（音量2）
00_ _ _ _ _ _	（音量1）
_ _ _ _ _ _ _ _	（消音）

子機の呼出音量を選ぶ

（切を押してから操作します）

機能/録音 押す → 下を2回押す → 押す → 下を1回押す

ﾙｽﾃﾞﾝ ｿｳｻ ▶ｵﾝｼﾂ・ｵﾝﾘｮｳ	▶ﾖﾋﾞﾀﾞｼｵﾝｼﾂ ﾖﾋﾞﾀﾞｼｵﾝﾘｮｳ	ﾖﾋﾞﾀﾞｼｵﾝｼﾂ ▶ﾖﾋﾞﾀﾞｼｵﾝﾘｮｳ

次ページへつづく

機能/録音 押す → 再生/停止 押す

上または下を押して呼出音の種類を選ぶ → 押す → 押す

●押すたびに呼出音が鳴ります。

● 親機の呼出音質（6種類）

押すボタン	呼出音
①	ベル1<高音>
②	ベル1<低音>
③	チャイム
④	ファンファーレ
⑤	森のくまさん
⑥	ユーモレスク

● 子機の呼出音質（10種類）

呼出音
ベル1<高音>
ベル1<低音>
ベル2
チャイム
ファンファーレ
音階
森のくまさん
ユーモレスク
華麗なる大円舞曲
ラデツキー行進曲

機能/録音
押す

●消音に設定すると、親機に 消音 が表示されます。

 押す → 上または下を押して音量を選ぶ → 押す → 押す

（例）音量3のとき

●現在の設定が表示されます。

●消音のとき ”ショウオン”、
音量1のとき”[■　　　]”、
音量2のとき”[■■　　]”、
音量3のとき”[■■■　]”、
音量4のとき”[■■■■]”、
を選んでください。

●消音に設定すると、子機に 消音 が表示されます。

おしらせ

●消音に設定時、内線の呼出音は「音量1」で鳴ります。
●呼出音質を「ベル1、ベル2」以外に設定すると、かけてきた相手が電話を切っても、呼出音がすぐに鳴り止まないことがあります。

音に関する機能の設定を変える

■ ボタンを押すたびに鳴る「ピッ」音を鳴らす、鳴らさないを設定することができます。
お買い上げ時は、「ON」に設定されています。

親機のキータッチ音を設定／解除する

機能/録音 ○ ② ② 押す → 設定するとき ① 押す / 解除するとき ② 押す

●ダイヤルボタンを押します。
（例）設定しているとき

●現在の設定が表示されます。

子機のキータッチ音を設定／解除する
(切を押してから操作します)

機能/録音 戻る 押す → 電話帳/決定 下を2回押す → 電話帳/決定 押す → 電話帳/決定 上を1回押す

次ページへつづく

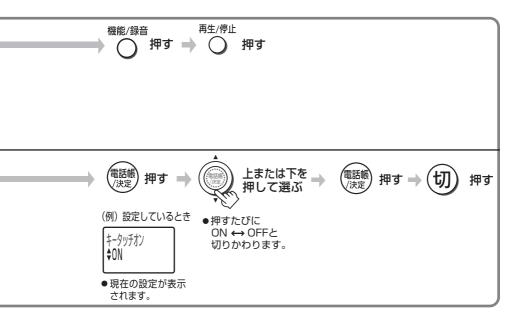
機能/録音 押す → 再生/停止 押す

電話帳/決定 押す → 上または下を押して選ぶ → 電話帳/決定 押す → 切 押す

（例）設定しているとき

キータッチオン
▲▼ON

●現在の設定が表示されます。

●押すたびに ON ⟷ OFFと切りかわります。

音に関する機能の設定を変える

■ 受話器や子機のレシーバーから聞こえる音量（受話音量）を、4段階（音量1、音量2、音量3、音量4（特大））の中から選ぶことができます。お買い上げ時は「音量1」に設定されています。

親機の受話音量を調節する	受話器で外線通話中に 音量 ◯ を押して調節する ●押すたびに受話音量が切りかわります。
子機の受話音量を調節する	子機を耳にあてて外線通話中に 上または下を押して調節する ●上を押すと、大きく、下を押すと小さくなります。

■ 子機のレシーバーから聞こえる音質（受話音質）を、3種類（標準、高音強調、低音強調）の中から選ぶことができます。通話が終わると、標準に戻ります。
お買い上げ時は「標準」に設定されています。

子機の受話音質を切りかえる	子機を耳にあてて外線通話中に 押す ●押すたびに受話音質が切りかわります。

●子機の受話音質は、通話録音中（27ページ）は切りかえることはできません。

■ 用件再生やハンズフリー通話のスピーカー音量を4段階（音量1、音量2、音量3、音量4）の中から選ぶことができます。お買い上げ時は「音量3」に設定されています。

親機のスピーカー音量を調節する	発信 を押したときに/用件再生中に/居留守モニター中に 音量 を押して調節する ●押すたびにスピーカー音量が切りかわります。
子機のスピーカー音量を調節する	ハンズフリー を押したときに/用件再生中に/居留守モニター中に 上または下を押して調節する ●上を押すと、大きく、下を押すと小さくなります。

その他の機能の設定を変える

■ 子機の液晶のコントラストを13段階の中から選ぶことができます。数値では確認できません。
お買い上げ時は、中間に設定されています。

子機の液晶のコントラストを選ぶ
(切を押してから操作します)

機能/録音

押す →

上を3回押す →

▶エキショウコントラスト
クイックツウワ

押す

エキショウコントラスト
♦チョウセイ

■ 子機に名前を付け、通常状態（15ページ）のときに、表示させることができます。
お買い上げ時は、「コキ（1）」または「コキ（2）」…と登録されています。
あらかじめ、名称を登録しておくと、その名称で、呼出すことができます。(内線ネーム呼出)

子機に名称を登録する
(切を押してから操作します)

機能/録音

押す →

上を4回押す →

▶メイショウトウロク
エキショウコントラスト

電話帳/決定 押す

(例)“コキ（1）”のとき

コキメイショウ?［ア］
コキ(1)

● 現在の設定が表示されます。

■ 子機を充電器からとるだけで、☎ を押さなくても電話をかけたり、受けたりすることができます。
お買い上げ時は、「ON」に設定されています。

子機のクイック通話を設定／解除する
(切を押してから操作します)

機能/録音

押す →

上を2回押す →

▶クイックツウワ
ショキカ

押す

(例) 設定しているとき

クイックツウワ
♦ON

● 現在の設定が表示されます。

上または下を押して選ぶ
押す
押す

●押すたびに液晶のコントラストが切りかわります。

キャッチ
を押して
押す

登録内容を消去し、名称を入力する（最大10文字）

●文字入力のしかたは52〜53ページをご覧ください。

上または下を押して選ぶ
押す
押す

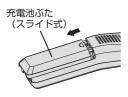
●押すたびに ON ⟷ OFFと切りかわります。

充電池（ニッケル水素電池）を交換する

（子機）

子機の専用充電池（ニッケル水素電池）は消耗品です。約2年くらいで新しい充電池と交換してください。

充分に充電しても、少し話すとすぐに通話ができなくなるときは、新しい充電池と交換してください。

① 充電池ぶたを開ける

② 新しい充電池を入れて充電する（17ページ）
発信ランプが緑点灯します。

● 子機の充電池を交換すると、子機のリセット（91ページ）を行なった場合と同じ状態になります。

お願い

● 必ず指定の充電池（別売品　TF-BT10（ニッケル水素電池）、電圧：3.6V）をお使いください。
● 充電端子が汚れていると、充分に充電しても、少し話すとすぐに通話が切れたり、まったく通話や操作ができなくなることがあります。充電端子の汚れは、乾いた布や綿棒などでこまめに拭き取ってください。
● 充電池のコードを無理に引っ張らないでください。
● 必要のない限り、プラグの抜き差しは行なわないでください。むやみな抜き差しは、線材およびコネクタの破損をまねくおそれがあります。
● 充電が完了しても、充電器上で、子機の液晶画面に何も表示されなかったり、発信ランプが緑点灯しないときは、子機を充電器からとって、もう一度充電器に戻してください。

充電式電池リサイクルご協力のお願い

● 本商品は、ニッケル水素充電池を使用しています。
● ニッケル水素充電池はリサイクル可能の貴重な資源ですので、リサイクルにご協力ください。
● 交換後不要になった充電池は、下記の注意事項を守ってリサイクル協力店の充電式電池リサイクルBOXに入れてください。
　·充電池のビニールカバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
　·充電池のコードやプラグは切断しないでください。
　·充電池を分解しないでください。
　·充電池の金属端子が露出した場合は、ビニールテープなどを貼って絶縁してください。

● リサイクル協力店は、有限責任中間法人JBRCホームページでご確認ください。
http://www.jbrc.com

Ni-MH

（2009年3月現在）

子機を増やす（増設子機の登録）

別売の子機を増設することができます。（専用子機：TF-DK125）増設できる子機の台数は、付属子機を含めて最大4台です。（付属子機には、増設子機の登録操作は必要ありません。）
登録には、増設子機の他に、親機と親機用ACアダプターも必要です。親機用ACアダプターをコンセントに差し込んだ状態で、行なってください。

■ **回線種別を正しく設定後、増設する子機を充電し 切 を押して、親機の近くに持ってきてください。**

①親機で増設の準備をします

機能/録音

押す ➡ 機能/録音

押す

● 増 が約30秒間点滅します。

②増設する子機で操作します（親機の 増 が点滅中に行ないます。）

機能/録音

押す ➡

下を
5回押す ➡

電話帳/決定 押す ➡ 電話帳/決定 押す

ニチジ　セッテイ
▶コキゾウセツ
圏外

ゾウセツ シマスカ?
YES=[ケッテイ]
圏外

■ 増設子機が2台以上あるときは、必ず、1台ずつ、上記 ①、② をくり返し行なってください。
■ 登録後、内線通話（30〜31ページ）を行ない、正しく増設できたことを確認してください。

子機の使用をやめるときや子機を交換するとき、使用する子機の台数を減らすときは、「増設のリセット」を行ない、使用する子機で「増設子機の登録」を行なってください。

親機で増設のリセットをする

機能/録音

押す ➡ キャッチ/消去

2秒以上押す ➡ 機能/録音

押す

dEL

● 付属子機やすでに登録済みの子機が使用できなくなります。

おしらせ

● 登録方法について、くわしくは、増設子機に付属の取扱説明書をご覧ください。
● 「増設子機の登録」操作を途中で止めるには、親機の 増 が点滅中に、再度、親機で① の操作を行なってください。増の点滅が消え、通常状態（13ページ）に戻ります。
● 「増設子機の登録」や「増設のリセット」の操作中、または操作後、約10秒間は、親機や子機を使用しないでください。また、親機から親機用ACアダプターを抜いたり、子機の充電池を外さないでください。登録やリセットの情報を正確に書き込めず、正常に動作しない場合があります。
● 操作を間違えたとき、時間内に登録操作が完了しなかったとき、登録に失敗したときは、登録操作をやり直してください。（なお、ご使用にならないときは、誤動作を防ぐために、充電池を外しておいてください。）
● ①の親機の操作を行なわずに、②の子機の操作を行なったときは、「コキ　ゾウセツチュウ」と表示され、子機の操作ができなくなります。約20〜40秒経過すると、通常状態に戻ります。
● 名称登録（82〜83ページ）している子機で「増設子機の登録」を行なうと、お客様が登録した子機の名称は自動的に消去され、お買い上げ時の状態（「コキ(1)」または「コキ(2)」…）に戻ります。

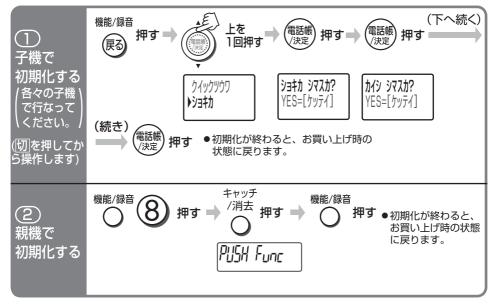
初期化

すべての設定（呼出音量、呼出音質など）、登録されている内容（電話帳の登録内容、名称登録など）が、お買い上げ時の状態に戻ります。

■ **子機の電話帳にあらかじめ登録されている時報（117)、天気予報（177)、電報（115)、番号案内（104）は、消去されません。**

本機（親機とすべての子機）は、お客様固有の情報（登録した内容や録音した内容など）を保持可能な商品です。登録または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本機を廃棄・譲渡・返却するときは、個人情報保護の観点から親機とすべての子機で初期化の操作を必ず行なってください。

■ **あらかじめ、親機・すべての子機に電源が入っていること、すべての子機の液晶画面に「オヤキサーチチュウ」（または「ツウワ　ケンガイ」）と「 圏外 」が表示されていないことを確認し、子機、親機の順に初期化を行なってください。**
親機から行なうと、子機の名称登録（82〜83ページ）が消えずに残るなど、初期化されません。

おしらせ

- 初期化中は、他の子機や親機を使用しないでください。電話をかけたり受けたりすることはできません。
- 連続して初期化を行なうと、子機の液晶画面に「シヨウチュウ」と表示されたり、初期化が正常に行なえない場合があります。このときは、約5秒くらいたってから、初期化の操作を行なってください。
- 初期化後、親機や子機を使用するときは、回線種別を正しく設定してください。(19ページ)

スプリッタ・TA設定

（親機）

ADSLをご利用になっている場合や、ISDN回線のTAなどに接続してご利用になっている場合に、「ハウリングを起こす」「音声が回り込み相手の声が聞きとりにくい」「通話の声が大きい」「音質が悪い」「話しにくい」などの症状が起こる場合があります。このような場合は、スプリッタ・TA設定を行なうことにより、症状が緩和することがあります。お買い上げ時は「OFF」（解除）に設定されています。

親機で設定すると、親機やすべての子機で利用できます。

おしらせ

- この操作を行なっても、回線状況や接続しているスプリッタ・TAの種類によっては症状が改善しない場合があります。この場合は、契約されているADSL接続サービス会社やTAのメーカーにご相談ください。
- この操作を行なっても、症状が改善されなかったり、音声の回り込みや音質の低下が発生する場合は設定を解除してください。
- ADSLをご利用の場合、通話中に雑音が入る場合があります。ADSLをご利用になっているときの特有の事象です。契約されているADSL接続サービス会社へご相談ください。

＊切り取り線

リモコン早見表

種　　類		操作番号
用件再生		(#)○○○
リモコン待ち	用件の聞き直し	②
	留守セット／解除	(#)⑥
	全消去	(#)(*)

リモコン早見表

種　　類		操作番号
用件再生		(#)○○○
リモコン待ち	用件の聞き直し	②
	留守セット／解除	(#)⑥
	全消去	(#)(*)

リモコン早見表

種　　類		操作番号
用件再生		(#)○○○
リモコン待ち	用件の聞き直し	②
	留守セット／解除	(#)⑥
	全消去	(#)(*)

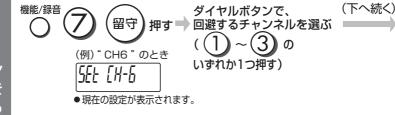
リモコン早見表

種　　類		操作番号
用件再生		(#)○○○
リモコン待ち	用件の聞き直し	②
	留守セット／解除	(#)⑥
	全消去	(#)(*)

回避チャンネル設定

他の電化製品（無線LAN機器など）の電波干渉によって、通話に雑音が入るときは、無線LAN機器で使用しているチャンネルを「CH6」にかえてみてください。それでも雑音が入るときは、無線LAN機器と本機の回避チャンネル設定を切りかえてください。
例えば、無線LAN機器で「CH12」をお使いの方は、無線LAN機器のチャンネルを「CH11」に設定し、下記操作で、本機の回避チャンネルを「CH11」に設定してみてください。通話品質が改善される場合があります。回避チャンネルは3種類（CH1、CH6、CH11）の中から選ぶことができます。
お買い上げ時は「CH6」に設定されています。
親機で設定すると、親機やすべての子機で利用できます。

親機で回避チャンネル設定を切りかえる

●現在の設定が表示されます。

（続き）機能/録音 押す → 再生/停止 押す

● 回避チャンネル（3種類）

押すボタン	回避チャンネル	表示
①	CH1	SEt CH-1
②	CH6	SEt CH-6
③	CH11	SEt CH-11

おしらせ

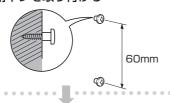
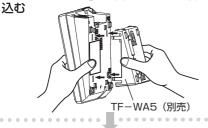
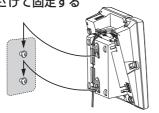
- 切りかえても症状が改善されなかったり、逆にひどくなった場合は、お買い上げ時の設定「CH 6」に戻してください。
- 回線種別が正しく設定されていないと、回避チャンネル設定を切りかえることはできません。（19ページ）

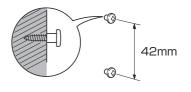
次ページへつづく

親機や充電器を、壁に取り付けることができます。親機を壁に取り付ける場合には、別売の壁掛けアダプター（ネジ付き）が必要です。 TF−WA5　希望小売価格525円（税抜価格500円）
充電器を壁に取り付ける場合には、別売のネジが必要です。（品名：ネジASSY　品番：FXA1831（サービス部品扱い））希望小売価格210円（税抜価格200円）ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください。　（希望小売価格は2009年3月現在の価格です。）

親機を壁に取り付ける

壁掛け用フックをはずして、上下の向きを逆さにし、裏返して差込み、受話器が落ちてこないか確認する

右側にある壁掛け用取付寸法を壁にあて、壁掛け用ネジを取り付ける

本体底面に壁掛けアダプターの4本のツメを「カチッ」と音がするまで押し込む

親機用ACアダプターのコードと電話機コードを図のように処理し、壁掛けアダプター底面のネジ穴にネジを入れ、下にさげて固定する

充電器を壁に取り付ける

右側にある壁掛け用取付寸法を壁にあて、別売の壁掛け用ネジを取り付ける

子機用ACアダプターのコードを図のように処理してから、充電器背面のネジ穴にネジを入れ、下にさげて固定する

- ネジがゆるんでいると、子機を充電することができない場合があります。

注意

- 壁掛けにするときは、落下しないようにしっかりと取り付け・設置してください。落下のおそれがあり、けがの原因となることがあります。
- ベニヤ板などの薄い板壁やボード板（石こう板）には取り付けないでください。落下のおそれがあり危険です。

お願い

- 親機を幅の狭い柱などに取り付けるときは、板などを利用されると安定してお使いいただけます。

壁掛け用取付寸法

親機60ミリ

充電器42ミリ

壁掛け

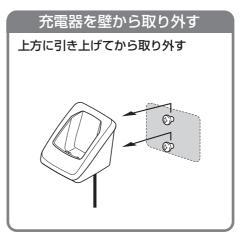
親機を壁から取り外す

上方に引き上げてから取り外す

充電器を壁から取り外す

上方に引き上げてから取り外す

壁掛けアダプターを本体から取り外す

壁掛けアダプター側面の2本のツメを押しながら外す

停電のときは

停電中や親機から親機用ACアダプターが外れたときは…

親機	**受話器で電話をかけたり受けたりすることはできますが、その他の機能は使用できません。** ●ナンバー・ディスプレイを契約している場合、ナンバー・ディスプレイははたらきません。電話がかかってくると、短い呼出音が鳴ります。このときは電話にでられません。(でると電話が切れます) 通常の呼出音に変わってから受話器をとってください。
子機	**電話機能は使用できません。** ●通話中に停電すると、通話は切れます。続いて「ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…、ピピピ」音が鳴り、通常状態に戻ります。

■ 日付・時刻の設定について

親機の時計がお買い上げ時の状態に戻り、「2009年1月1日午前0時」から再び動き始めます。再度、親機の時計を合わせてください。(20ページ) 親機の時計を合わせないでいると、子機1に登録した時計が、自動的に親機に転送されます。

■ 留守番電話の用件再生中や、外線リモコン操作中に停電したとき

再生は停止します。外線リモコン操作中の場合、電話が切れます。

■ 通話録音中に停電が起きたとき

通話録音が終了します。
(正しく録音されていない場合があります。)

■ 停電が終わると、通常状態に戻るときに、約1秒程度回線とつながることがあります。

■ 停電が終わってからしばらくたっても、子機の液晶画面に「ツウワ　ケンガイ」(または「オヤキ　サーチチュウ」)と「圏外」が表示されているときは、[☎]、[内線/保留/文字]、または[ハンズフリー]のいずれかを押してください。

■ 正常に動作しないときは、リセット操作（右側）を行なってください。

リセットについて

ボタン操作を受けつけなくなった場合（強い外来ノイズや静電気、落雷を受けたときなど）や、正常に動作しない場合は、リセット操作を行なってください。また、本機は、自己診断機能により本機が異常と判断すると、自動的にリセット処理を行なう場合があります。

親機のリセット方法

親機から、親機用ACアダプターのプラグを抜き、約1分してから、再度差してください。(16ページ)

- リセット操作を行なうと、親機の時計がお買い上げ時の状態に戻り、「2009年1月1日午前0時」から再び動き始めます。再度、親機の時計を合わせてください。(20ページ) 親機の時計を合わせないでいると、子機1に登録した時計が、自動的に親機に転送されます。時計以外の設定、登録した内容は保持されます。

子機のリセット方法

充電池ぶたをあけ、充電池のプラグを抜き差ししてください。(17ページ)

- リセット操作を行なうと、子機の時計がお買い上げ時の状態に戻り、「2009年1月1日午前0時」から再び動き始めます。再度、子機の時計を合わせてください。(20ページ) 時計以外の設定、登録した内容は保持されます。

いろいろな接続

■ナンバー・ディスプレイをお使いの場合の接続について

● 1つの回線にはナンバー・ディスプレイ対応の機器は1台しかつなげません。2台以上の電話機をつなげてそのままお使いの場合、電話番号が表示されなかったり、かかってきた電話にでることができないなどの原因となることがあります。
2台以上お使いのときは、本機以外の機器（電話機やファクシミリなど）のナンバー・ディスプレイが**機能しないように**設定してください。

相手が電話をかけると

他の電話機

短い間隔の呼出音が鳴る
● 受話器をとらないでください。もし、受話器をとったときは、すぐに戻してください。
受話器をとったままにすると、相手の方は「ツーツー…」と話し中になります。

↓

通常の呼出音が鳴る
● 受話器をとると、お話しできます。
● 他の電話機に留守番機能があるときは、他の電話機の留守番機能がはたらかないようにしてください。
● 短い間隔の呼出音で他の電話機が留守応答すると、本機のナンバー・ディスプレイ機能（58ページ）が使えなくなります。

本　機

呼出音が鳴らない
● 液晶画面に「CALL」（親機）、「チャクシン」（子機）と表示されます。
（電話番号などのデータを受信しています。）

↓

呼出音が鳴る
● ナンバー・ディスプレイをご利用の方は、液晶画面に電話番号などが表示されます。（58ページ）
● 受話器または子機をとる、または［☎］を押すと、お話しできます。

● **ファクシミリとの接続**
ファクシミリの機種によっては、本機のナンバー・ディスプレイが表示されない、ファクシミリの受信ができないなど、本機と接続してご利用になれない場合があります。くわしくは、ファクシミリのメーカーにお問い合わせください。

● **ホームテレホン、構内交換機（PBX）との接続**
接続には、別途工事が必要の場合があります。くわしくは、ホームテレホン、構内交換機（PBX）のメーカーにお問い合わせください。また、ナンバー・ディスプレイ（58ページ）は、ご利用になれません。そのまま接続すると、必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となることがあります。

● **ISDN回線のTAとの接続**
ナンバー・ディスプレイ対応のTAをお使いください。くわしくは、TAのメーカーにお問い合わせください。
（なお、INSナンバー・ディスプレイをNTTとご契約後、ナンバー・ディスプレイの設定を本機とTAの両方で行なってください。）
・本機で行なう設定…ナンバー・ディスプレイの設定（59ページ）
・TAで行なう設定…ナンバー・ディスプレイの設定（くわしくは、TAのメーカーにお問い合わせください。）

● 本機以外にナンバー・ディスプレイ対応のアダプター（表示器）は、お使いにならないでください。
本機だけでナンバー・ディスプレイ（58ページ）がご利用になれます。

● 本機と並列に、他の電話機を接続しないでください。誤動作の原因となることがあります。

ADSLをご利用の場合は

■ 電話機での通話の声が大きい場合は、スプリッタ・TA設定（87ページ）を行なってください。
■ 電話をかけられない（フリーダイヤル、天気予報など）ときは、回線を手動で設定してください。（19ページ）

■ 困ったときは

- 回線を手動設定（19ページ）しても電話をかけられない
- 音量が小さい、雑音が多い
- ナンバー・ディスプレイで相手の電話番号が表示されない
- 携帯電話に電話をかけると、相手に「非通知」と表示される

本機の電話機コードを、ご自宅の電話機コード差込口に直接つないで確認してください。
正常の場合は、ADSLの事業者に相談してください。

NTTのISDN回線をご利用の場合は

■ 電話機での相手の声が大きい場合は、スプリッタ・TA設定（87ページ）を行なってください。
■ 接続したら回線種別を「プッシュ」に設定してください。（19ページ）

■ こんなときはTAの取扱説明書をお読みください。

- i・ナンバー、ダイヤルインを利用する
- ナンバー・ディスプレイ、キャッチホンを利用する
- 携帯電話に電話をかけられない、受けられない・相手が切っても呼出音が鳴り続ける
（リバース[極性切替]スイッチ と DSU を切り離すスイッチを確認する）

- 接続についてくわしくは、ご利用のパソコン、ADSLモデム、スプリッタ、TAなどに付属の各取扱説明書をお読みください。
- ADSLなどをご利用になると、サービス会社や接続条件によっては下記のような症状が発生する場合があります。
  - ・電話に雑音が入ることがあります。その場合は各ADSLサービス会社へご相談ください。
  - ・電話番号を通知するように選択されていても、携帯電話・PHSに発信した場合は「非通知」になる場合があります。
  - ・発信時、局番の頭に0000、0120、0570、0990、186、184、122などをつけた場合、また110、119、177、117などの番号にかけたときに、電話がかからない（つながらない）などの現象が発生することがあります。このようなときは、NTTとご契約されている回線種別と電話機の回線設定が合っているかを確認してください。（19ページ）合っている場合は、各ADSLサービス会社へお問い合わせください。

仕様

＊ 仕様および外観は予告なしに変更することがあります。

型　番	TF-VD1200・VD1230・VD1240
使用周波数	2.4～2.4835GHz全帯域
変調方式	FH-SS方式
ダイヤル方式	ダイヤル回線：DP信号（10PPS／20PPS） プッシュ回線：PB信号
電　源	親機用ACアダプター（VT-14） 専用充電池（型番：TF-BT10） 子機用ACアダプター（VT-16）
充電完了時間	約10時間
使用時間	子　機：待ち受け時約180時間 ：連続通話時約6時間
消費電力	親　機：動作時最大約4.4W ：留守待機時約2.6W （留守セット時） 充電器：子機充電時約1.8W
直流抵抗	約281Ω
時計精度	親機・子機：約±60秒/月
録音時間	応答メッセージ・用件・通話録音した内容などを含め約10分以内
用件録音時間	1件につき約5分以内
寸　法（幅×高さ×奥行）	親　機：約163×69×155mm （突起部含まず） 子　機：約45×166×35mm 充電器：約67×71×73mm
質　量	親　機：約500g 子　機：約140g（充電池を含む） 充電器：約57g

お手入れ

⚠注意

●お手入れの際は、安全のためにACアダプターをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因になることがあります。
ACアダプターを抜くと停電と同じ状態になります。（停電のときは　91ページ）

本体・コード類

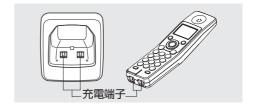
- 柔らかい乾いた布でから拭きしてください。
- ぬれたぞうきんは使用しないでください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性の薬品は本体を傷めますので、使用しないでください。またアルコール類や洗剤などは本体を傷める場合がありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、化学ぞうきんに添付の注意書をよくお読みください。
- ゴムやビニール製品を長時間触れさせることは、本機の外装ケースを傷めますので避けてください。

子機・充電器

- 柔らかい乾いた布でから拭きしてください。
- ぬれたぞうきんは使用しないでください。

充電端子が汚れていると子機を充電器に戻しても通話が切れなかったり、☎発信ランプが緑点灯していても充電できないことがあります。また、充電ができないために、通話が突然切れるなど使用時間が短くなります。充電端子の汚れは、乾いた布や綿棒などでこまめに拭き取ってください。

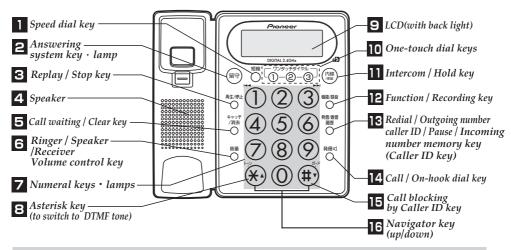
親機の登録・設定一覧表

（親機）

親機は、簡単なボタン操作で、それぞれの機能の項目を選ぶことができます。

機　　能	ボタン操作	ページ
自作メッセージ録音・確認・切替・消去	機能/録音 ① ①	P. 40
着信ベル回数設定	機能/録音 ① ②	P. 44
暗証番号登録	機能/録音 ① ③	P. 45
呼出音質設定	機能/録音 ② ①	P. 76
キータッチ音設定	機能/録音 ② ②	P. 78
鳴り分け設定	機能/録音 ② ③	P. 64
日時設定	機能/録音 ③	P. 20
回線種別設定	機能/録音 ④ ①	P. 19
スプリッタ・TA設定	機能/録音 ④ ②	P. 87
携帯通話プリセット設定	機能/録音 ④ ③	P. 72
ナンバー・ディスプレイ設定	機能/録音 ⑤	P. 59
非通知ガード設定	機能/録音 ⑥ ①	P. 67
公衆電話ガード設定	機能/録音 ⑥ ②	P. 67
表示圏外ガード設定	機能/録音 ⑥ ③	P. 67
特定番号登録・確認・消去	機能/録音 ⑥ ④	P. 68
子機増設	機能/録音 ⑦	P. 85
回避チャンネル設定	機能/録音 ⑦ 留守	P. 88
初期化	機能/録音 ⑧	P. 86

＊複数ページに渡って操作の記載がある場合は、先頭ページを表します。

Quick Reference Guide

■ Parts Descriptions (Base Unit)

Basic Operations (Base Unit)

■ To make a call

Lift the handset. ➡ Dial...

■ To receive a call

When the phone rings...➡ Lift the handset. ➡ Talk...

■ To adjust the ringer volume

With the handset placed on the base unit, every pressing 音量 (6) to change the volume to the next level as shown below. ▶ Press 機能/録音 (12) to set.

■ To make a call using on-hook dial

Press 発信 (14). ➡ Dial. ➡ Hear the telephone-service announce.

➡ To end the call , press 発信 .

Press 発信 . ➡ Dial. ➡ Lift the handset when the other party answers.➡ Talk...

➡ Place the handset on the base unit to end the call.

■ To place the current call on hold

Press 内線/保留 (11) during a call. (You can place the handset on the base unit .)

■ To retrieve the held call

If you have returned the handset on the base unit, lift the handset.
If you have not returned the handset on the base unit, press 内線/保留 (11) again.

■ To transfer the held call to the personal phone

Press 内線/保留 (11) during a call. ➡ Press 1 ~ 4 (7) (the extension number you want to transfer to). ➡ Place the handset on the base unit when the other party answers.

■ To use TAM(Telephone Answering Machine)

When you leave home, press 留守 (2) to turn the Answer lamp on.

(To deactivate, press 留守 again to turn the Answer lamp off.)

➡ When receiving a call while TAM is active, it answers the call automatically in Japanese , and records the incoming messages.

Then, the 留守 lamp starts blinking. ➡ When you return home, press 留守 to play back the messages.

The 留守 lamp turns off and the answering mode is deactivated.

To playback the message while TAM is deactivated , press 再生/停止 (3).

During playing back the messages, press ｷｬｯﾁ/消去 (5) to erase the message.

To erase all the messages, press ｷｬｯﾁ/消去 for 2 seconds or more.

※Up to 59 messages can be recorded for approximate, 10 minutes in total.

■ To record OGM (outgoing message)

With the handset placed on the base unit, press 機能/録音 (12).

➡ Press 1 (7). ➡ Press 1 (7) . ➡ Press 2 (7) .

➡ Lift the handset to start recording. ➡ Speak to handset (up to 30sec).

➡ Press 機能/録音 . ➡ Press 再生/停止 (3).

■ To setting the telephone line manually

With the handset placed on the base unit, press 機能/録音 (12).

➡ Press 4 (7). ➡ Press 1 (7) .

➡ Press 1 ~ 3 to select the appropriate line type.

➡ Press 機能/録音 . ➡ Press 再生/停止 (3).

Line type

- 1 : tone dial line
- 2 : pulse dial line : 20pps
- 3 : pulse dial line : 10pps

■ To inhibit the cell phone pre-setting

With the handset placed on the base unit, press 機能/録音 (12).

➡ Press 4 (7). ➡ Press 3 (7). ➡ Press 3 (7).

➡ Press 機能/録音 . ➡ Press 再生/停止 (3).

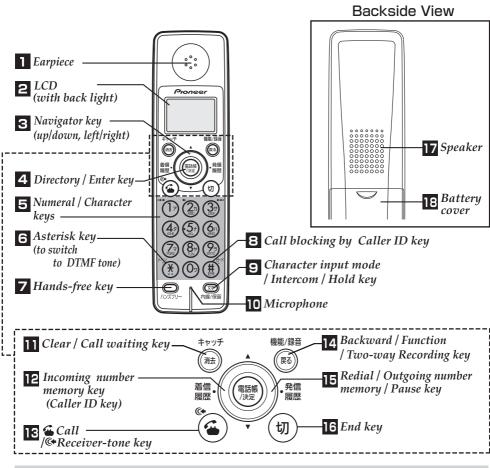
■ To set a date

With the handset placed on the base unit, press 機能/録音 (12) . ➡ Press 3 (7) .

➡ Enter the lower 2 digits of the year, the month in 2 digits and date in 2 digits, and the time in 4 digits (Press 0 9 0 7 2 3 1 6 4 5 for 16:45 July 23th, 2009, for example).

➡ Press 機能/録音 . ➡ Press 再生/停止 (3).

Quick Reference Guide

Parts Descriptions (Personal Phone)

Basic Operations (Personal Phone)

To make a call

Lift the personal phone from the cradle or press [call key] (13). ➡ Dial...

To end the call, place the personal phone on the cradle or press 切 (16).

To receive a call

When the phone rings... ➡ Lift the personal phone from the cradle or press [call key]. ➡ Talk...

To end the call, place the personal phone on the cradle or press 切 .

必要なとき

■ To adjust the ringer volume

After pressing the 切 , press 機能/録音 (14).

➡Press down (3) 2 times to select … " オンシツ・オンリョウ " on the LCD(2).

➡Press 電話帳/決定 (4). ➡ Press down once to select… " ヨビダシオンリョウ " on the LCD.

➡Press 電話帳/決定 . ➡Press up/down to select the volume level (Silent、Vol.1～Vol.4).

➡Press 電話帳/決定 . ➡Press 切 .

■ To make a call using the Hands-free talk

Press ハンズフリー (7). ➡Dial . ➡ Talk to the microphone(10)…

To end the call, place the personal phone on the cradle or press 切 (16).

■ To receive a call with the Hands-free talk

When the phone rings… ➡ Press ハンズフリー . ➡ Talk to the microphone…

To end the call, place the personal phone on the cradle or press 切 .

■ To place the current call on hold

Press 内線/保留 (9) during a call.

■ To retrieve the held call

Press ☎ (13) or 内線/保留 .

■ To transfer the held call to the base unit

Press 内線/保留 during a call . ➡ Press 0 (5) (the base unit number) .

➡Place the personal phone on the cradle or press 切 when the other party answers .

■ To transfer the held call to another personal phone

Press 内線/保留 during a call . ➡Press 1 ～ 4 (5) (the extension number you want to transfer to).

➡Place the personal phone on the cradle or press 切 when the other party answers.

■ To set a date

After pressing 切 (16), press 機能/録音 (14). Press down 4 times.

➡To select "ニチジ　セッテイ", press 電話帳/決定 (4).

➡Enter the lower 2 digits of the year, the month in 2 digits and date in 2 digits,

and the time in 4 digits (Press 0 9 0 7 2 3 1 6 4 5 for 16:45 July 23th, 2009, for example). ➡ Press 電話帳/決定 . ➡ Press 切 .

NOTICE
For Japanese standards only. This set operates on AC100V. Due to different standards of telephone line and different power requirements , this set cannot be used outside of Japan.

（親機）

早見表の見かた

受話器を親機からとる

操　　作	手　　　順	参照ページ
電話回線の手動設定	機能/録音 ④① → 回線種別を選ぶ（①～④のいずれか1つを押す） → 機能/録音 （下へ続く） →（続き） → 再生/停止	P.19
電話をかける	→ 「ツー」音が聞こえたら → 電話番号	P.22
オンフックダイヤルでかける	発信 → 「ツー」音が聞こえたら → 電話番号 → 相手がでたら →	P.22
リダイヤルで電話をかけ直す	→ 「ツー」音が聞こえたら → 発信/着信履歴	P.24
保留	通話中に 内線/保留 ／ 通話に戻る（保留を解除する）には 内線/保留	P.27
通話録音	通話中に 機能/録音 ／ 録音を終わらせるときは 機能/録音	P.27
キャッチ	通話中にキャッチホンの信号音（「プッ、プッ・・・」）が聞こえたら キャッチ/消去	P.28
内線通話	内線/保留 → 子機番号を押す（①～④のいずれか1つを押す） → 子機がでたら →	P.30
一斉呼出（子機が2台以上のとき）	内線/保留 → ＃▼ → 子機がでたら → → 最初につながった子機と話す	P.32
留守セット／解除	留守	P.37
用件再生／再生を止める	（留守番を解除しないで再生するとき） 再生/停止 ／ 用件再生中に 再生/停止	P.39
用件の全消去	キャッチ/消去 2秒以上押し続ける	P.39
特定番号の登録	機能/録音 ⑥④① → 市外局番から電話番号を入力する（最大20桁） （下へ続く） →（続き） → 機能/録音 → 再生/停止	P.68～69

（子機）

早見表の見かた
子機を充電器からとる

操作	手順	参照ページ
電話をかける	⇧ ➡「ツー」音が聞こえたら ➡ 電話番号	P.22
リダイヤルで電話をかけ直す	⇧ ➡「ツー」音が聞こえたら ➡ 着信履歴・電話帳/決定・発信履歴	P.24
ハンズフリーボタンでかける	ハンズフリー ➡ 電話番号 ➡ 相手がでたらそのままハンズフリー通話	P.26
保留	通話中に 文字 内線/保留 ／ 通話に戻る（保留を解除する）には 文字 内線/保留	P.27
通話録音	通話中に 機能/録音 戻る ／ 録音を終わらせるときは 機能/録音 戻る	P.27
キャッチ	通話中にキャッチホンの信号音（「プッ、プッ・・・」）が聞こえたら キャッチ 消去	P.28
内線通話	文字 内線/保留 ➡ 子機が2台以上のときは 電話帳/決定 上または下を押して親機を選ぶ ➡ 電話帳/決定 ➡ 親機がでたら話をする	P.31
子機間通話（子機が2台以上のとき）	文字 内線/保留 ➡ 電話帳/決定 上または下を押して呼出したい子機を選ぶ ➡ 電話帳/決定 ➡ 相手の子機がでたら話をする	P.31
一斉呼出（子機が2台以上のとき）	文字 内線/保留 ➡ # 記号 ➡ 最初につながった親機または子機と話す	P.32
留守セット／解除	機能/録音 戻る ➡ 電話帳/決定 下を1回押す ➡ 電話帳/決定 ➡ 電話帳/決定 ➡（下へ続く） （続き）➡ 電話帳/決定 上または下を押して“ON”または“OFF”を選ぶ ➡ 電話帳/決定 ➡ 切	P.38
用件再生	機能/録音 戻る ➡ 電話帳/決定 ➡ 電話帳/決定	P.39
再生を止める	用件再生中に 切	P.39

故障かな？と思ったら

ボタン操作を受け付けない、または以下の処置をしても正常に動作しない場合は、リセット操作を行なってください。（91ページ）
リセット操作を行なっても回復しないときは、**親機から親機用ACアダプターを抜くと、応急的に親機で電話をかけたり、受けたりできる場合があります。**

症　状		原因と処置
電話をかけたり、受けたりできない（続く）	受話器をとっても「ツー」という音が聞こえない	●電話機コードと受話器コードの差し込みが、確実に接続されているか確認してください。 ●電話回線が原因の場合もありますので、NTTの故障受付（局番なしの113番）、またはご利用の直収電話事業者にお問い合わせください。 ●ホームテレホンなどに接続すると、必要以上の電流などにより、故障・発熱・火災などの原因となることがあります。事前にホームテレホンのメーカー、または設置業者にお問い合わせください。 ●ISDN回線やADSLをご利用の場合、モデムやTAの接続・設定をご確認ください。 ➡くわしくは、ご利用の電話会社（またはモデムやTAのメーカー）などにご相談ください。 ●ファクシミリや他の機器などに接続のとき、その機器の接続や設定などが原因となる場合があります。原因と思われる機器のメーカーなどにご相談ください。 ➡【他の機器：セキュリティー機器、通信カラオケ、BSチューナー、CSチューナー、地上波デジタル用チューナー、CAT（キャットというカード会社の信用照会端末）など】
	電話をかけることができない	●回線種別（プッシュ／ダイヤル）を正しく設定してください。（19ページ） ➡ＩＰ電話をご利用の場合、0120、0570、0990ではじまる番号や局番の頭に0000、186、184、122などをつけたり、110、119、177、117などの番号にかけてつながらないときは、NTTにご契約の回線種別に合わせてください。 ➡ISDN回線をご利用の場合は、“プッシュ”に設定してください。 ●電話回線が原因の場合もありますので、NTTの故障受付（局番なしの113番）、またはご利用の直収電話事業者にお問い合わせください。 ●構内交換機（PBX）を利用していて、0（ゼロ）発信しても「ツー」という音が聞こえない（21ページ） ➡携帯通話プリセット機能を「OFF」（解除）にしてください。または、「0000」（携帯通話プリセット機能解除番号）を押してからダイヤルしてください。 ●ISDN回線で電話機のダイヤル信号をTAが正しく認識しない場合があります。くわしくはTAのメーカーへお問い合わせください。 ➡その場合「おかけになった電話番号は現在使われておりません」などの音声が流れて相手につながらないことがあります。
	携帯電話にかけることができない	●以下の場合は携帯通話プリセット機能を「OFF」（解除）にしてください。（21ページ）または、「0000」（携帯通話プリセット機能解除番号）を押してからダイヤルしてください。（71ページ） ➡・ひかり電話や直収電話サービス（NTT東日本・NTT西日本を除く）をご利用の場合 ・構内交換機（PBX）をご利用の場合、0（ゼロ）発信しても「ツー」という音が聞こえない ・ＩＰ電話をご利用の場合（ＩＰ電話の発信を優先させる場合）
	フリーダイヤルや天気予報、184や186をつけてかけることができない	●IP電話サービスなどで使用しているときは、NTTとの契約にあわせて、手動で電話の回線種別を設定してください。（19ページ）それでもかけられないときは、ご契約のIP電話サービス事業者にお問い合わせください。
	電話をかけようとすると警告音が鳴ってかけることができない	●ガード機能がはたらいていると、警告音が鳴ります。液晶画面が通常状態（13・15ページ）に戻ってから、電話をかけ直してください。
	電話をかけると違う相手とつながる	●前の相手との通話が終わり、電話を切ったあと、少し時間をおいてもう一度かけ直してください。

次ページへつづく

<table>
<tr><th colspan="2">症　状</th><th>原因と処置</th></tr>
<tr><td rowspan="6">電話をかけたり、受けたりできない（続き）</td><td>電話をかけたとき相手につながるまで時間がかかる</td><td>●相手の方がナンバー・ディスプレイまたはダイヤルインをご利用の場合、つながるまでに時間がかかることがあります。
●携帯通話プリセット機能（70～75ページ）がはたらく場合は、ダイヤルボタンを押しても、しばらくダイヤル音が聞こえない場合があります。これは事業者識別番号の付与判断を行なっているためです。故障ではありません。</td></tr>
<tr><td>電話にでると時々切れたり、つながらないことがある</td><td>●ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、電話機のナンバー・ディスプレイの設定を確認し、解除されている場合は「ON」に設定してください。（59ページ）
➡ナンバー・ディスプレイの回線で電話機の設定を「OFF」（解除）にしていると、かかってきた電話にでたとき「ジャー」という音が聞こえ、電話が切れてしまう場合があります。電話をかけてきた相手には、「ツー、ツー・・」という話中音が聞こえ、電話がつながらない状態になります。
➡INSナンバー・ディスプレイをご利用の場合、電話機の設定を「OFF」（解除）にしていると、外から自宅に電話をかけたとき「…おかけになった電話番号には、お客様と通信できる機器が接続されていないか、または故障中と思われます。」などのガイダンスが流れます。</td></tr>
<tr><td>呼出音が1～2回鳴って切れる</td><td>●電話回線が原因の場合もありますので、NTTの故障受付（局番なしの113番）、またはご利用の直収電話事業者にお問い合わせください。
●同じ回線で使用しているファクシミリ、モデム、ガス自動検針器、その他の通信機器が影響している場合があります。通信機器を外して症状がなくなる場合、原因と思われる通信機器のメーカーにお問い合わせください。
●NTTの転送サービスをご利用の場合、ナンバー・ディスプレイの設定を「OFF」（解除）にしてください。(59ページ)お買い上げ時は「ON」に設定されています。
➡転送サービスとナンバー・ディスプレイの併用はできません。くわしくは、NTT窓口(お客様サービス116番)へお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>呼出音が鳴らない</td><td>●電話回線が原因の場合もありますので、NTTの故障受付（局番なしの113番）、またはご利用の直収電話事業者にお問い合わせください。
●ISDN回線やファクシミリやADSLモデムなどに接続している場合、それらの機器の設定や動作が原因で呼出音が鳴らないことがあります。くわしくは原因と思われる機器のメーカーまたはご利用サービスの会社にご相談ください。
●親機の液晶画面にガードの表示（ ガード 表示）があるときは、原因となる不要なガードを解除してください。（67～69ページ）
●消音を設定した親機や子機の呼出音は鳴りません。消音を解除してください。（76～77ページ）</td></tr>
<tr><td>呼出音の鳴り出しが遅い</td><td>●TAに接続して、ナンバー・ディスプレイをご利用のとき、TAと電話機との通信の相互作用で多少遅くなる場合があります。</td></tr>
<tr><td>呼出音の鳴り方が変わった</td><td>●親機に親機用ACアダプターが正しく接続されているか確認してください。
➡外れていると親機の呼出音が小さく鈴虫のように鳴り、子機の呼出音は鳴りません。
●ナンバー・ディスプレイの回線では電話機のナンバー・ディスプレイの設定を「ON」にしてください。（59ページ）
➡「OFF」（解除）にしていると、呼出音が最初短く鳴ります。
●鳴り分けが設定されている相手と、そうでない相手では、呼出音の鳴り方が異なります。鳴り分けが不要な場合は解除してください。（64ページ）</td></tr>
</table>

故障かな？と思ったら

	症　状	原因と処置
通話中での症状	通話の音声がとぎれたり割れたりして聞きとりにくい	●スプリッタ・TA設定を「ON」にしてご使用ください。（87ページ） ➡事務所など騒音の激しい場合や電話回線の事情により声が反響する場合、聞きとりにくいことがあります。
	自分の声が相手に聞こえない	●受話器や子機のマイクを指や顔などでふさがないでください。 ●［発信］を押すと、こちらの声は相手に聞こえません。（スピーカー拡声　22ページ）通話するときは受話器をとってください。
	雑音や異音が聞こえる	●ご契約の電話会社（NTTの場合、故障受付113番など）にお問い合わせください。 ➡親機と子機間の内線通話に雑音が入らない場合は、電話機以外の要因と考えられます。 ●ダイヤル回線をご利用の場合、ダイヤルすると「プツプツ・・」という音が聞こえます。故障ではありません。 ●キャッチホン・ディスプレイをご利用の場合、キャッチホンが入ると「ピポ」と聞こえ、電話番号データを受信するために数秒ほど無音の状態になります。
	通話がとぎれたり、雑音が入る	●雑音の原因となる他の機器から電話機を約3m以上離して設置してください。 ➡他の電気製品、ACアダプター、充電器、モデム、TAなどの近くに電話機を設置すると、通話がとぎれたり、雑音が入ることがあります。
	通話が反響して相手の声が聞きとりにくい	●スプリッタ・TA設定を「ON」にしてください。（87ページ） 改善しない場合は、ご利用の電話会社などにご相談ください。 ●ファクシミリやADSLモデムやISDN機器などに接続している場合、それらの機器が原因で反響することがあります。くわしくは原因と思われる機器のメーカーまたはご利用サービスの会社などにご相談ください。
	キャッチホンが切りかわらない	●TA、モデム、ホームテレホン、構内交換機（PBX）などが原因で、キャッチホンの切りかえができない場合があります。TA、モデム、ホームテレホン、構内交換機（PBX）などのメーカー、または設置業者へお問い合わせください。

	症　状	原因と処置
親機での症状	保留や留守番などの機能がはたらかない	●親機用ACアダプターが正しく接続されているか確認してください。
	「ピピピ・・・」と鳴り発信できない	●子機が回線使用中のときは、親機から電話をかけることはできません。（「LINE IN USE」と表示されます。）受話器を戻し、子機の使用が終わってからかけ直してください。
	壁掛けにすると受話器が滑り落ちる	●親機の受話器をひっかけるために、壁掛け用フックを差しかえてください。（89ページ）

	症　状	原因と処置
子機での症状（続く）	ボタン／ランプが反応／点灯しない	●親機用・子機用のACアダプターが正しく接続されているか確認してください。なお、停電などで親機の電源が切れているときは、ご使用になれません。 ●子機のリセットを行なってください。（91ページ） ●充電器と子機の充電端子（94ページ）を乾いた布や綿棒などできれいに拭き、約10時間以上充電してください。充電容量が少ないときは、充電し始めてから約10分くらいは 発信ランプは緑点灯しません。 ●数週間充電をしないで放置された場合、約10時間以上充電しても、発信ランプが緑点灯しないことがあります。新しい充電池に交換してください。（84ページ）

次ページへつづく

	症 状	原因と処置
子機での症状（続く）	液晶画面に「オヤキ サーチチュウ」（または「ツウワケンガイ」）と「圏外」が表示されて使えない	● 回線種別（プッシュ／ダイヤル）を正しく設定してください。（19ページ） ● 親機に親機用ACアダプターが正しく接続されているか確認してください。また、停電などで電源が切れているときも、子機はご使用になれません。 ● 親機に近づいたり、場所を変えたりしてください。（10ページ） ● 設置環境などノイズの影響で発生するケースは、故障ではありません。再度、[ボタン] を押すか親機をご使用ください。原因となる電気機器（携帯電話の充電器、ファクシミリ、ADSLモデムやISDN機器、AV／OA機器など）から親機や子機を離すことで軽減します。
	充電ができない、通話が切れる	● 子機に子機用ACアダプターが正しく接続されているか確認してください。 ● 発信ランプが緑点灯するまで約10分程度かかることがあります。 ➡ 約10分たっても点灯しない場合は、子機を充電器からとって、もう一度充電器に戻してください。 ● 充電器と子機の充電端子（94ページ）は乾いた布や綿棒などでこまめに拭いてください。 ● 数週間充電しないで放置すると、急速に充電池が消耗し、充電できなくなる場合があります。 ➡ 新しい充電池に交換してください。（84ページ）
	充電器に置いても、液晶画面に何も表示されなかったり、発信ランプが消えている	
	充電器上で 発信ランプが緑点灯のまま変わらない	● 充電が完了しても 発信ランプは緑点灯のまま変わりません。 ➡ 充電器上では子機が多少あたたかくなりますが異常ではありません。充電し続けても故障することはありません。
	充電器からとっても [ボタン] を押さないと通話状態にならない	● クイック通話を解除している場合は設定してください。（82～83ページ）
	通話中に切れる	● 子機の充電池が消耗している場合は充電端子を拭いて約10時間以上充電してください。それでも切れるときは新しい充電池に交換してください。（84ページ） ➡ 充電池交換の目安は約2年くらいですが、短い時間の通話と充電をくり返した場合、使用開始の間もない新しい充電池であっても、一時的に充電容量が少なくなります。この場合は数日間充電をやめ、いったん充電池を使いきること（ボタンを押しても反応がない状態）で解消します。あらためて約10時間以上充電してご使用ください。
	ハンズフリー通話（26ページ）のとき、音声がとぎれたり、割れたりして聞きとりにくい	● 相手の話が終わったところで話すようにしてください。 ➡ 相手と同時に話をすると会話の最初の部分がとぎれやすくなります。 ● 静かな場所でご利用ください。 ➡ 周りの音（相手側、またはこちら側）が大きい場合、声がとぎれやすくなります。 ● 口もとからマイクまでの距離は約50cmを目安にしてください。 ➡ 近すぎると、声が割れて相手に聞きとりにくくなります。
	通話がひびく、とぎれる、雑音が聞こえる	● 親機から離れすぎた場合など、声がとぎれたらすみやかに親機に近づいてください。 ● 2.4GHzの電波を使用する機器（無線LAN、ルーター、AV機器・防犯機器など）から親機や子機を約3m以上離してください。 ● 2.4GHzの無線LANなど電波干渉の影響があるときは、回避チャンネル設定をお試しください。（88ページ） ● 電子レンジやADSLモデムやISDN機器、携帯電話の充電器などから、親機や子機を約3m以上離してください。 ● 1つの事務所内（部屋内）にデジタルコードレスホンを複数設置しないでください。 ● 同じ部屋の中でも電波の弱くなるところがあり、その位置で通話すると声がとぎれて聞きとりにくくなります。この場合は少し移動すると改善します。 ● 建物の構造や壁の材質によって電波を通しにくい場合があり、症状の原因となります。 ➡ 特に金属の構造物、鉄筋コンクリート、鉄骨、モルタル壁、金属線入りのガラスなどは電波を通しません。

	症　状	原因と処置
子機での症状（続き）	増設した子機が使えない	●登録操作に失敗していると、ご使用になれません。「増設のリセット」を行ない、もう一度、「増設子機の登録」を行なうとご使用になれます。（85ページ） ●登録操作中は、親機や他の子機で他の操作を行なわないでください。増設登録が失敗したり、増設後の動作が正常に行なえない場合があります。

	症　状	原因と処置
留守番機能	留守ランプの点滅が消えない	●まだ聞いていない録音内容をすべて聞くと点滅が消えます。（39ページ）
	留守セットができない	●「設定できません。録音がいっぱい・・・」と聞こえるときは、録音内容をすべて聞いたあと消去してください。（39ページ）
	スピーカーから聞こえる録音中の相手の声（モニター音）が小さい、または聞こえない	●小さい場合はスピーカー音量を大きくしてください。(81ページ) 呼出音量が消音のときは、消音を解除してください。(76～77ページ) ●ガード機能（67～69ページ）がはたらいているときは、スピーカーから音声は聞こえません。
	録音内容の再生の音声が小さい	●スピーカー音量を大きくしてください。(81ページ)
	「ツ　ー・・」という音しか録音されていない	●録音のはじめで相手が電話を切ったとき「ツー・・」という音が録音されることがあります。
	用件が録音されていない／応答メッセージが変わった	●録音の残り時間がなくなったときや、録音件数が59件に達したときは、自動的に固定応答専用メッセージに切りかわります。用件は録音されません。不要な用件は、消去してください。（39ページ）
	応答メッセージが流れない	●小さい声または音で自作メッセージが録音されていると思われますので、録音し直してください。（40～41ページ） ●同じ回線に接続した他の機器が先に電話を受けてしまう場合、本機は留守応答できませんので、本機が先につながるようにしてください。（92～93ページ） ➡本機の留守応答の呼出回数を2回など少ない回数に設定すると、先につながる場合があります。（44ページ）
	留守セットしていないのに応答する	●暗証番号を登録すると、呼出音の約15回目に自動的に留守応答します。暗証番号を消去すると、この動作は行ないません。（45・47ページ） ●各種ガード（非通知・公衆電話・表示圏外・特定番号）を設定しているときは、各種ガードのメッセージで応答し電話が切れます。設定されているガード内容を確認し、不要なものを解除してください。（67～69ページ）
	留守番につながる呼出音の回数が変わってしまう	●トールセーバのはたらきによるものです。（47ページ） ➡着信ベル回数を設定してください。（44ページ）
	リモコン再生ができない	●あらかじめ暗証番号（45ページ）を登録してください。 ●周囲に音楽などの流れていない状況で、応答メッセージが流れてから約30秒内に約8秒以内の入力間隔で暗証番号をゆっくり長めに押してください。それでも再生されない場合は、短めに押してください。 ●暗証番号や操作するボタンを押し間違えていませんか。 ●携帯電話など、信号音のでる時間が「ピポパ」と短い電話機は信号が伝わりにくい場合がありますので、公衆電話など「ピーポーパー」と長めにでる電話機からかけ直してください。 ●プッシュホンまたはトーン信号（ピッ、ポッ、パッ）を出せる電話機から操作してください。

	症　状	原因と処置
ナンバー・ディスプレイ	かけてきた相手の電話番号などが表示されない	●NTTへナンバー・ディスプレイのお申し込みが必要です。くわしくはNTT窓口（お客様サービス116番）にお問い合わせください。契約後、本機のナンバー・ディスプレイの設定を「ON」にしてください。(59ページ) ●同じ回線には、ナンバー・ディスプレイ表示器や、他の併用の電話機やファクシミリや、ホームテレホンなどを接続しないでください。 ●同じ回線に他の機器（ISDNのTA／ルーター、ADSLモデム／スプリッタ、セキュリティー機器、通信カラオケ、BSチューナー、CSチューナー、CAT（キャットというカード会社の信用照会端末））などが接続されている場合、それらの機器が原因で、ナンバー・ディスプレイがはたらかない場合や電話がつながらない場合があります。くわしくは原因と思われる機器のメーカー、または関連のサービス会社などにご相談ください。 ➡ISDN回線でご使用のTAが旧バージョンの場合に、ファームウエアを最新バージョンに変更すると改善する場合があります。 ➡TAがナンバー・ディスプレイ対応機種でなければ表示できません。 ➡TA側の設定（電話機を接続するアナログポートでナンバー・ディスプレイを使用する）が必要です。設定方法はTAに付属の取扱説明書をご覧ください。 ➡ADSLをご利用の場合は、スプリッタやモデムなどを外し、電話機を回線に直接つないだ状態でナンバー・ディスプレイが表示される場合、スプリッタやモデムなどの原因と考えられます。 ●ホームテレホン、構内交換機（PBX）に接続した場合、ナンバー・ディスプレイはご利用になれません。 ●マンション独自の電話設備の関係でナンバー・ディスプレイがはたらかない場合があります。マンションの管理会社などにお問い合わせください。
	電話帳に登録している相手の名前が子機で正しく表示されない	●同一の電話番号を複数の名前で、電話帳に登録しないでください。市内局番以降が同じ電話番号が複数ある場合、正しく表示されません。電話番号は、必ず市外局番から登録してください。（50〜51ページ）
	キャッチホンの電話番号が表示されない	●NTTの「ナンバー・ディスプレイ」・「キャッチホン・ディスプレイ」・「キャッチホン」の3つのサービスへのご契約が必要です。さらに電話機のキャッチホン・ディスプレイの設定を行なってください。（59ページ） ●通話中の子機が、一度親機から離れすぎたり、電波の弱くなる場所に移動したあと（「 圏外 」表示）、「 圏外 」が消える場所まで移動した場合は、通話に戻ることはできますが、電話番号は表示されません。(故障ではありません。）通話を終えると、正常な表示や動作に戻ります。
	携帯電話の番号は表示するが一般電話からの番号は親機は「 ----0---- 」子機は「ヒョウジケンガイ」になる	●INSナンバー・ディスプレイの申込が必要です。NTT窓口(お客様サービス116番)にお問い合わせください。
	電話をかけた相手に「非通知」と表示されてしまう	●お客様の回線が通常非通知（回線ごと非通知）の場合は、電話番号の前に186を付けてダイヤルしてください。その通話に限り電話番号を通知します。 ➡通常通知に変更の場合は、NTT窓口(お客様サービス116番）にお問い合わせください。 ●ＩＰ電話をご利用の場合には、相手もＩＰ電話のときや、相手が携帯電話・PHSのときは、相手に非通知と表示される場合があります。くわしくはＩＰ電話の提供元（プロバイダーなど）にお問い合わせください。 ●ISDN回線をご利用のときは、TAの設定を「通知」に変更してください。くわしくは、TAのメーカーへお問い合わせください。
	ガード機能がはたらかない	●キャッチホン・ディスプレイをご契約していても、キャッチホンでかかってきたときは、ガード機能（非通知・公衆電話・表示圏外・特定番号）がはたらきません。

	症　状	原因と処置
その他	ACアダプターが少し熱い	●ACアダプターは多少の熱を発します。夏場の室温上昇で触って熱いと感じられる場合もありますが、非常に熱くなったときは、ACアダプターをコンセントから抜き、弊社お客様相談室（111ページ）へお問い合わせください。

こんな表示のときは

（親機）

親機の液晶画面の主な表示と説明です。

表示	状況
--HELLO--	● 電源を入れてから起動しているとき
FULL	● 録音内容がいっぱいのとき ● 特定番号が30件登録されているときなど
IN USE	● 子機使用中のときなど
---------	● 設定や登録ができないときなど（消去中など）
12:30 3 新規用件	● 通常状態（この場合は、新たに録音された用件が3件あるとき）
LINE IN USE	● 子機が外線通話中（または保留中）
CALL	● 外線着信中、キャッチホン・ディスプレイで着信したとき
----C----	● 公衆電話からかかってきたときなど
----P----	● 電話番号を通知しないでかけてきたときなど
----O----	● 表示圏外など、ナンバー・ディスプレイを利用できない回線からかかってきたときなど
--Error--	● ナンバー・ディスプレイのデータを正常に受信できなかったときなど
PLAY	● 用件や応答メッセージを再生しているときなど
rUSU	● 留守応答中や外線リモコン操作中

表示	状況
rEC	● 自作メッセージ録音中 ● 通話録音中
rEAdY	● 自作メッセージ録音待ち状態のとき
-ALL-	● 子機を2台以上お使いのときに、一斉呼出をするとき
-HoLd-	● 外線通話を保留しているときなど
PUSH 1-2	● 子機を2台お使いのときに、内線呼出で相手を選択するときなど
PUSH 1--4	● 次に押すボタンを待機中のときなど（ダイヤルボタン1～4のいずれかを押すとき）
-3-	● 点滅中は、内線で子機を呼出しているときや呼出されているときなど（この場合は子機3のとき） ● 点灯中は、子機と内線通話しているときなど（この場合は子機3のとき）
PUSH Func	● 機能／録音 を押すとき
PUSH dEL	● キャッチ／消去 を押すとき
SEt 1	● 設定操作時に選択、または現在の設定を確認するとき（この場合はダイヤルボタン1を押す、またはダイヤルボタン1を設定しているとき）
SEt On	● 設定操作時に選択、または現在、設定中のとき（この場合は「ON」を選択または設定しているとき）
SEt OFF	● 設定操作時に選択、または現在、解除中のとき（この場合は「OFF」を選択または解除しているとき）

次ページへつづく

警告

●万一、煙がでている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜き、内部などを開けずに煙がでなくなるのを確認して修理窓口または販売店に修理をご依頼ください。特に、電話機が異常に熱くなっている場合は、やけどの危険性がありますので、絶対に触らないでください。
お客様による修理、確認などは危険ですので、絶対におやめください。

保証書（本書の裏表紙）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から1年間です。

本機の保証は持込修理となっています。**出張修理や引取修理をご希望の場合は保証期間内でも出張料金や配送料金が別途必要となります。**あらかじめご了承願います。
保証期間中および保証期間後を問わず何らかの原因により各種の登録、設定、録音内容が損なわれた場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承願います。

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書に記載の当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期限

本機の補修用性能部品は製造打ち切り後、5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談、ご質問

お買い求めの販売店へご依頼ください。転居されたり、ご贈答品などで販売店へ修理の依頼ができない場合は、修理受付センター（111ページ）にご相談ください。

修理を依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」（102～107ページ）を参考に調べていただき、なお異常があるときは、必ずACアダプターをコンセントから抜いて、販売店または修理窓口に修理をご依頼ください。
電話をかけたり受けたりできないときは、親機から親機用ACアダプターを抜くと、親機で応急的に電話をかけたり、受けたりできる場合があります。お持込みになる場合や引取修理の場合は、必ず親機・子機・充電器・ACアダプターを一緒にして修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときは、次の事項を確認してください。

1 品名、機種（システム名）
（例：コードレス留守番電話機　TF-VD1200／VD1230／VD1240）
2 故障の内容
（どのような症状か・どんなときに症状がでるか・いつもでるか・時々なのか）
3 お買い上げ年月日（○年○月○日）
4 お名前、ご住所、ご連絡先電話番号

保証書とアフターサービスについて

持込修理について

本機の保証は「持込修理」扱いです

お買い求めの販売店にお持込みください。
弊社へご依頼のときは、お近くの修理窓口（サービス拠点）へ直接お持込みください。
（112～113ページ）

引取修理について

配送料金（保証適用外）が別途かかります。
当社指定の宅配業者が修理品の回収、お届けを行ないます。修理期間の代替機の用意はできません。

出張修理について

サービスステーションからの距離に応じて出張料金（保証適用外）が別途かかります。
当社のサービスマンが訪問して修理いたします。

愛情点検

長年ご使用の電話機の点検を！

こんな症状はありませんか
- ・ACアダプターやコードが異常に熱くなる。
- ・ACアダプターにさけめやひび割れがある。
- ・電気が入ったり切れたりする。
- ・本体から異常な音、熱、煙、臭いがする。

すぐに使用を中止し、ACアダプターをコンセントから抜き、故障や事故防止のため、必ず販売店にご相談ください。

お客様相談窓口・修理窓口

次ページへつづく

修理、取り付け、他の製品との接続などに関してはお買い求めの販売店へお問い合わせください。
お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合はパイオニア修理受付センターへお問い合わせください。

操作・取扱のお問い合わせや、故障か判断に迷われたときは

【お客様相談室】

東日本地区（埼玉県所沢市）
☎ 04ー2949ー5131

西日本地区（大阪市）
☎ 06ー6533ー0099

専用FAX：04ー2949ー5501

受付　月曜～金曜　9：30～17：30、土曜　9：30～12：00、13：00～17：30（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

＜下記窓口へのお問い合わせ時のご注意＞
「0120」で始まる フリーコール フリーコールおよび フリーダイヤルは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話では、ご使用になれません。また、一般電話は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。あらかじめ、ご了承ください。

修理（出張修理、引取修理）のご依頼、お問い合わせは

【パイオニア修理受付センター】

※沖縄県の方は、沖縄サービスステーションでお受けします。（113ページ）
ご希望により出張修理、引取修理も承ります。
保証期間内でも出張料金、配送料金はお客様のご負担となります。

TEL：フリーコール 0120ー5ー81028（ゴーパイオニア）　一般電話：03ー5496ー2023
FAX：フリーコール 0120ー5ー81029

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、土曜・日曜・祝日　9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

部品（付属品、取扱説明書など）のご購入については

【パイオニア部品受注センター】

TEL：0120ー5ー81095　一般電話：0538ー43ー1161
FAX：0120ー5ー81096

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、土曜　9：30～12：00、13：00～18：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■上記の電話番号・受付時間などは、変更する場合がありますのでご了承ください。（平成21年3月現在）

さくいん

アルファベット順

50音順

【あ行】

【か行】

【さ行】

【た行】

困ったとき

【な行】

【は行】

【ま行】

【や行】

【ら行】

【わ行】

Pioneer 保証書 持込修理

品　名	コードレス留守番電話機	機　　種	TF-VD1200 TF-VD1230 TF-VD1240
保証対象	本　　　体	保証期間	(お買い上げ日より) 1年間
※お買い上げ日	年　月　日		
※お客様 お名前	様	ご住所 電話番号	(　　)
※販売店	店名・住所・電話番号		

※印欄は必ずご記入ください。

<無料修理規定>

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店または修理窓口が無料修理いたします。
2.保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店または修理窓口にご持参ください。その際には本書をご提示ください。
3.ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合や、お近くの修理窓口がない場合は、修理受付センターへご相談ください。
4.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
　(イ) 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
　(ロ) お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、冠水等による故障および損傷
　(ハ) 火災、地震、水害、**落雷**その他の天災地変、公害、塩害、虫害、**異常電圧**などによる事故および損傷
　(ニ) 一般家庭用以外(例えば、業務用への長時間使用、車両・船舶への搭載等)
　(ホ) 消耗品(各部ゴム、電池、テープ等)の交換
　(ヘ) 増設子機の登録操作を行なう場合
　(ト) 本書の提示がない場合
　(チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは文字を書きかえられた場合
　(リ) 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
　(ヌ) 出張修理をご希望されたときの出張費用、引取修理をご希望の場合の引取・お届けの配送費用
5.本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

(修理メモ)

- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間中および経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口・修理窓口にお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切り後5年間保有しています。

パイオニアコミュニケーションズ株式会社
〒359ー1167　埼玉県所沢市林2ー70ー1

 Printed in China FRA1424ーA